



取付説明書

地上デジタルTVチューナ

DTV106

取付説明書：090003-29370700

👉 アドバイス

アンテナ・接続コード別売

必ず接続する商品に合わせて接続キットをお買い求め下さい。

04年11月以降発売のDTV対応ECLIPSEナビと接続の場合



DTVL10

地上デジタルTVチューナECLIPSE接続キット

VTR入力をもつ04年10月以前発売のECLIPSEナビ、他社
モニター（RCAもしくはS端子ナビ）等と接続の場合



DTVR10

地上デジタルTVチューナ汎用接続キット

- DTV106本体(TVチューナ)の推奨取り付け位置はシート下(コード長3.5m)となります。トランクなどに取り付ける場合は、各種コードの延長が必要となります。

DTVL10の場合(KW-1206 (2006年10月以降発売予定))、DTVR10の場合は、各種汎用接続RCAコード等が必要となります。

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。

本機の実装には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。

「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

- 本製品に同梱されているB-CASカードをデジタルTVチューナに挿入する前に、お客様に“B-CASカード使用許諾契約約款”を読んでいただき、承諾していただいた後に“B-CASカード”を台紙から取り出してください。
- B-CASカードは、お客様とB-CAS社との個別の直接契約となります。

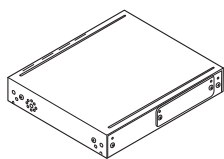
もくじ

取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	4
	B-CASカードの挿入	6
	取り付け概要図	8
接続について	接続端子の名称と役目	9
	システム接続例	12
取り付けについて	フィルムアンテナの取り付け	14
	TVチューナの取り付け	37
	リモコン受光ユニットの取り付け	39

構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

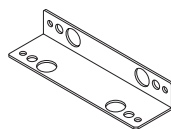
本体関係(DTV106)



①TVチューナ
×1



②筐体アースコード
×1



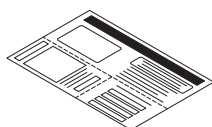
③L型ブラケット
×2



④六角ボルト
(M5×8)×4



⑤タッピングネジ
×4



⑥B-CASカード
×1

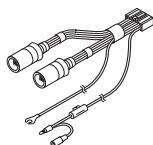


⑦プチルテープ
(50×100)×2

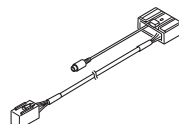
本体配線関係(DTVL10)



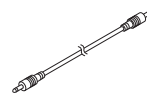
⑧接続コード
(DIN13P)×1



⑨接続コード
(12P-DIN13P)×1

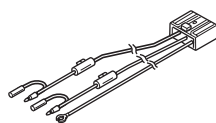


⑩接続コード
(RGB用)×1

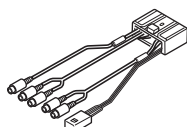


⑪接続コード
(RCA用)×1

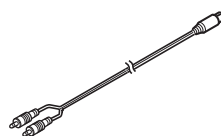
本体配線関係(DTVR10)



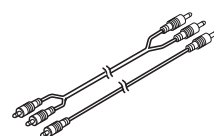
⑫接続コード
(電源用12P)×1



⑬接続コード
(映像出力用20P)×1



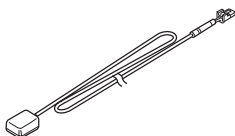
⑭接続コード
(S端子変換用)×1



⑮接続コード
(後席モニター用)×1



⑯リモコン×1

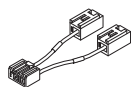


⑰リモコン受光ユニット
×1

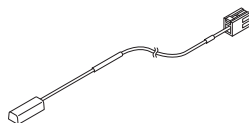


⑱両面テープ
(リモコン受光ユニット用)
×1

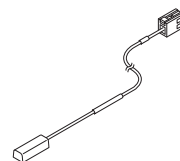
フィルムアンテナ関係(DTVL10、DTV R10共通)



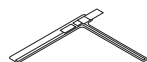
⑲接続コード
(フロント用緑色コネクタ)
×1



⑳フロントアンテナコード(左)
(白色チューブ) ×1



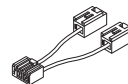
㉑フロントアンテナコード(右)
(緑色チューブ) ×1



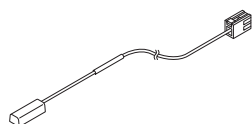
㉒フロントフィルムアンテナ(左)
×1



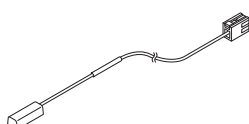
㉓フロントフィルムアンテナ(右)
×1



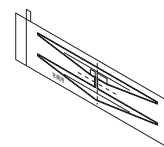
㉔接続コード
(リア用青色コネクタ) ×1



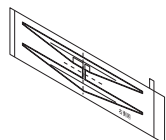
㉕リアアンテナコード(左)
(青色コネクタ) ×1



㉖リアアンテナコード(右)
(黒色コネクタ) ×1



㉗リアフィルムアンテナ(左)
×1



㉘リアフィルムアンテナ(右)
×1



㉙導電性布テープ
×2



㉚クリーナ(布)
(フロントフィルム・リアフィルム用)
×1



㉛ゴムヘラ
×1

配線用部品(DTVL10、DTV R10共通)



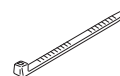
㉜防水クッション(平型)
×2



㉝防水クッション(丸型)
×2



㉞コードレール
×8



㉟バンドクランプ
×2



㊱ハーネス固定テープ
×2



㊲クランプ
×14

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと



警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対には使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 作業中のショート事故防止のため、取り付け前に必ずバッテリーの⊖端子をはずす。感電や怪我の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなど異常が起きましたら直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。
- 車両のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のネジは使用しないで下さい。事故などの原因となります。
- 助手席にエアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付けしないでください。万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。
- コード類は運転操作の妨げにならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー／ブレーキペダルなどに巻つくと危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けしないでください。交通事故の原因となります。

注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気・ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- コード類を配線するときは、車両側部品とのかみ込みに注意してください。断線やショートにより事故や感電・火災の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

B-CASカードの挿入

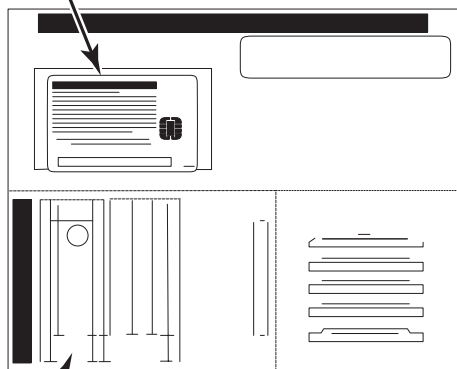
アドバイス

- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」を、よくお読みください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
- カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。
修理センターなどでカード交換を行なった際、発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。
- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能なコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

ーB-CASカードについてー

⑥B-CASカード(添付)

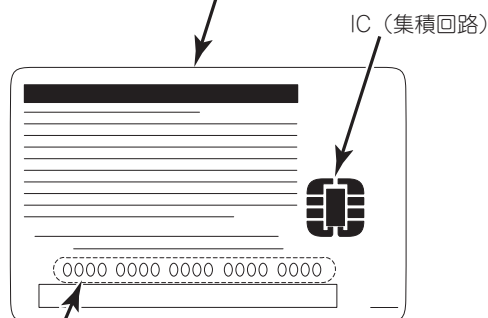
- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



ユーザー登録はがき

- はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。
(登録は無料です。)

⑥B-CASカード



B-CASカード番号

- 有料番組に契約内容などを管理するための大切な番号です。
お問い合わせの際に必要です。
裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

ーB-CASカード取り扱い上の留意点ー

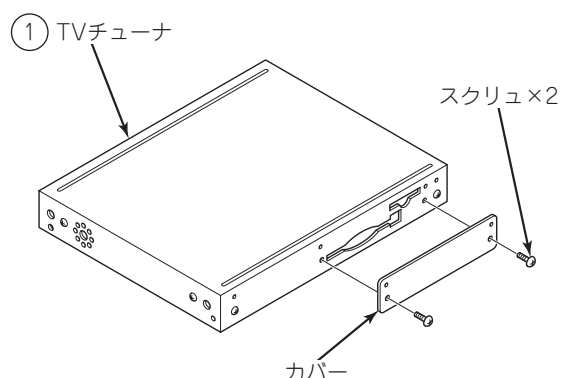
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC (集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

ーB-CASカードについてのお問い合わせはー

(株)ピーエス・コンディショナルアクセス・システムズ カスタマーセンター TEL0570-000-250

－B-CASカードを挿入する－

- 1 TVチューナのカードスロットカバーを取り外す。

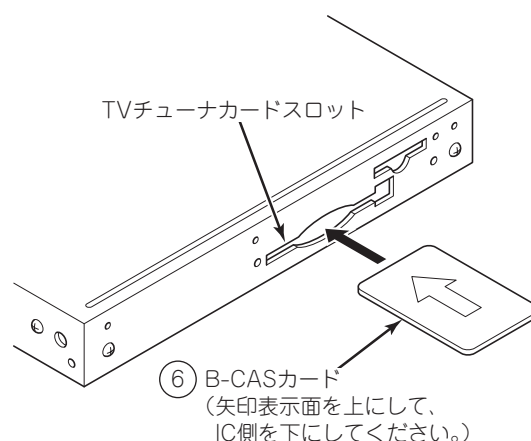


- 2 カードスロットにB-CASカードを矢印表示面を上にして挿入する。

⚠ 注意

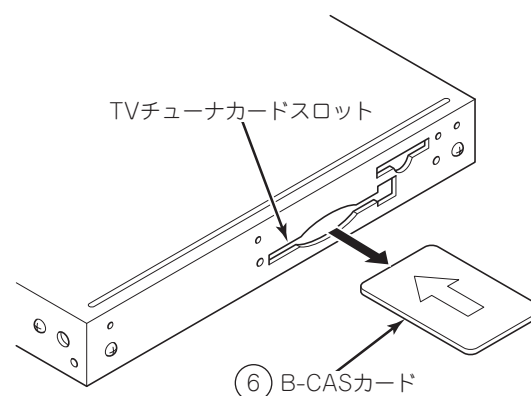
- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

- 3 TVチューナにカードスロットカバーを元通りに取り付ける。



－B-CASカードを抜く－

- 1 エンジン进行切る。(ACCオフ)
- 2 ゆっくりとB-CASカードを抜く。

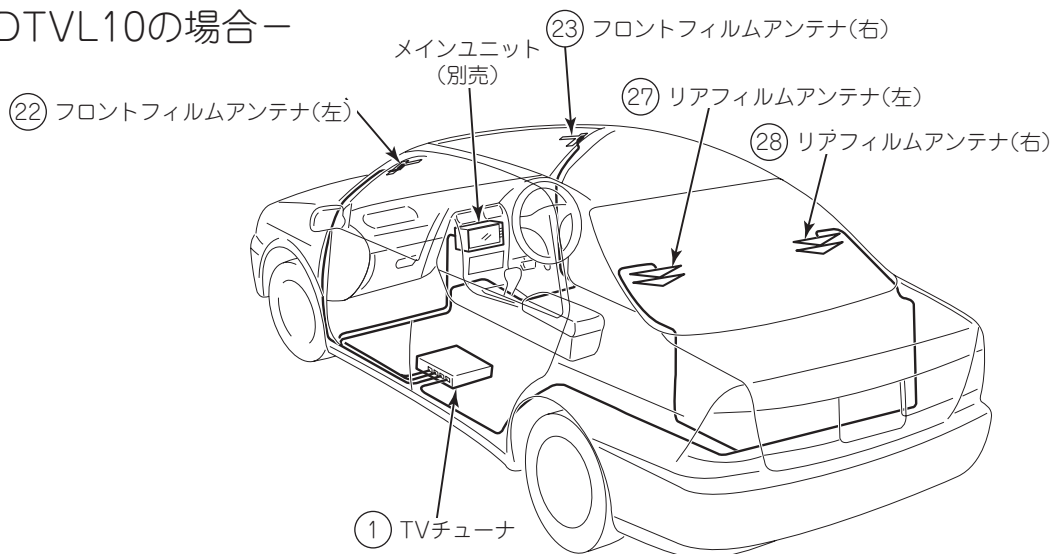


⚠ 注意

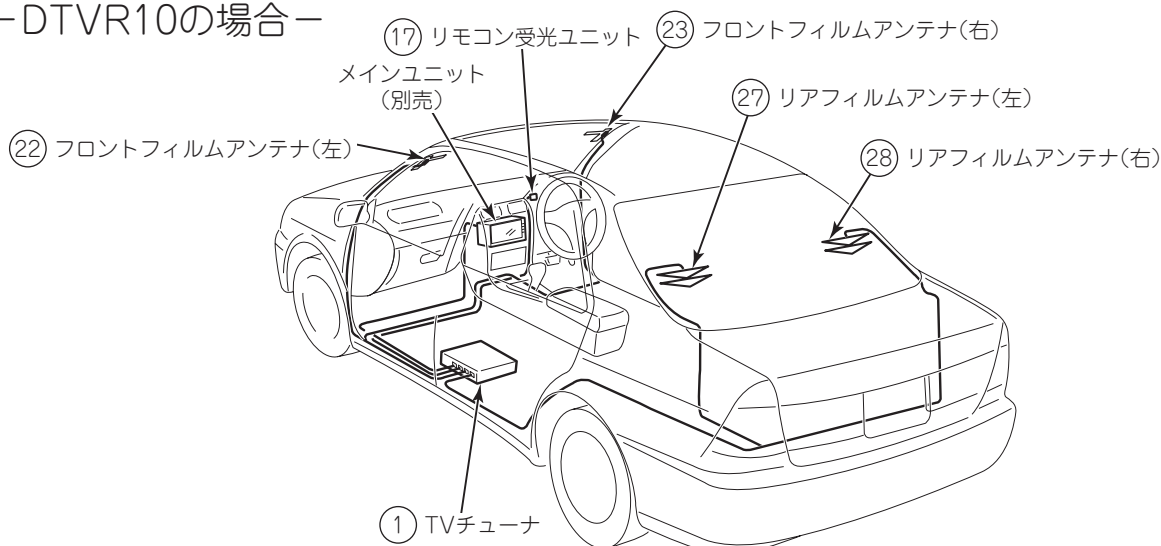
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(詳しくは、取扱説明書をご参照ください)
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードの動作確認を行ってください。(詳しくは、取扱説明書をご参照ください)

取り付け概要図

—DTV L10の場合—



—DTV R10の場合—



👉 アドバイス

- 別売のメインユニットに同梱されているフィルムアンテナ(GPS、アナログTV等)については、必ず取り付けを行ってください。
- アンテナは断熱ガラスなどの特殊加工されたガラスや金属を含有するウィンドウフィルムに設置すると感度が極端に劣化するため取り付けできません。
- 一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
一部の車両において、フロントガラスの材質・表面処理等により、受信感度が落ちる場合があります。
- フロントガラスに「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」を採用した車種は、熱線だけでなく電波も反射するためデジタルTVフィルムアンテナの取り付けはできません。取り付けに関しましては、購入前に販売店様、もしくは弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- リアフィルムアンテナを取り付けできない場合は、フロントアンテナのみの受信設定に切り替えることができます。
フロントアンテナのみでのご使用の場合は、フロント・リアでご使用の場合より受信性能は劣ります。
- リアウィンドウのデフォッガ線(熱線)の間隔が25mm以下の場合、リアフィルムアンテナは取り付けできません。
- リアウィンドウにラジオ等のガラスアンテナが装着されている場合は、ラジオ等の感度に影響を及ぼす場合があります。
- リアウィンドウが収納されたり開閉されたりする場合は、リアフィルムアンテナは取り付けできません。

接続端子の名称と役目

⚠ 警告

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

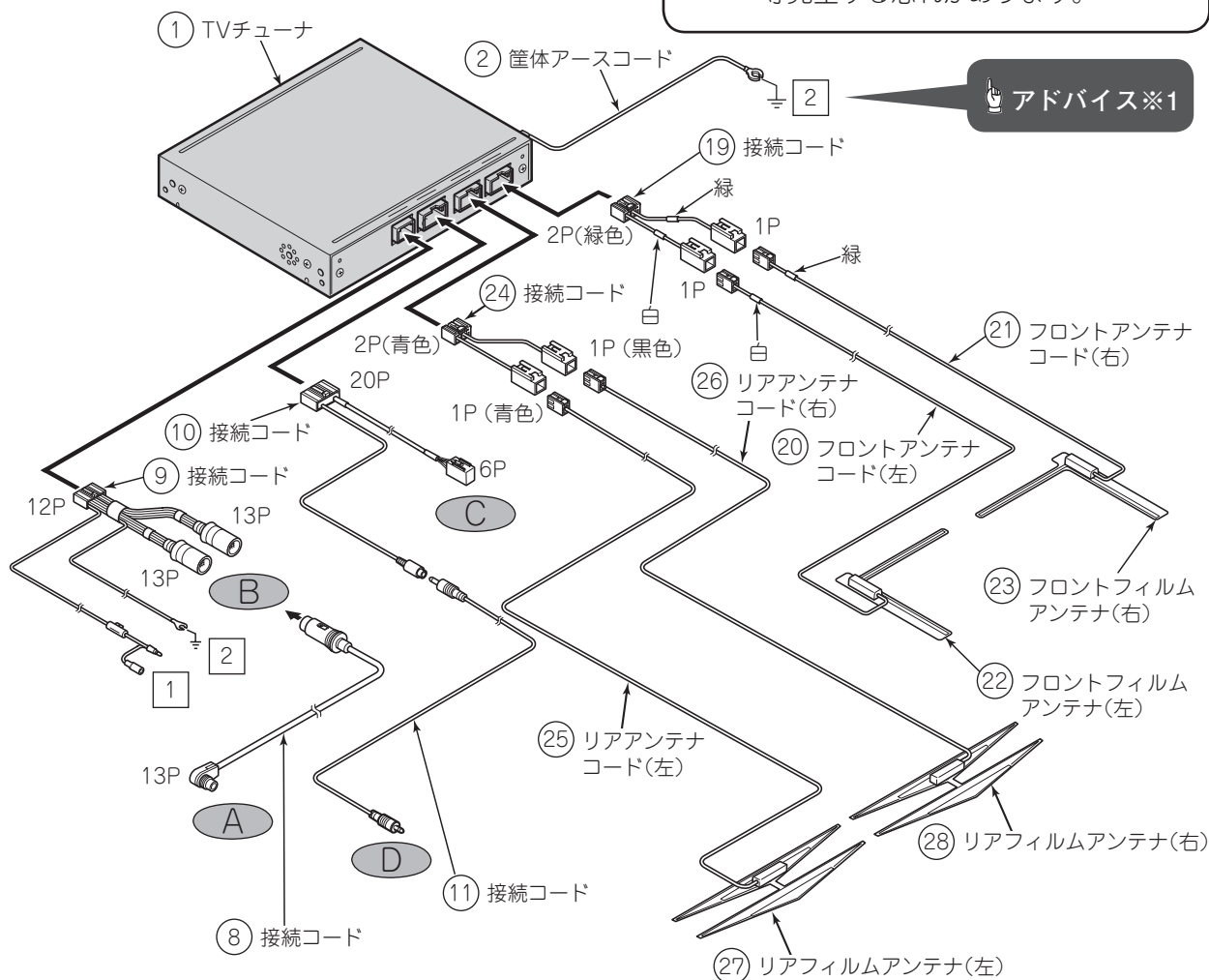
ーDTV L10の場合ー

(地上デジタルTVチューナECLIPSE接続キット使用の場合)

👉 アドバイス

- ※1 この筐体アースは必ず取り付けてください。取り付けをしないとノイズ等発生する恐れがあります。

👉 アドバイス※1



👉 アドバイス

- 接続コード、⑧、⑨、⑩、⑪の線色および接続先、**A**～**D**および用途は10ページを参照ください。
- B**のDINコード(メス側)2本は、同じ機能のためどちらを使用しても問題ありません。

－DTV L10の場合－

◆接続コード⑧ & ⑨ & ⑩ & ⑪の線色および接続先

①バッテリー電源端子(黄色)

車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続します。

②アースコード(黒色)

車のボディのアースが確実に取れる所へ取り付けます。

A LAN通信端子 13P

別売のメインユニットに接続します。

B LAN通信端子 13P

別売のメインユニットへの接続や、別売のCDチェンジャー等と組み合わせる場合に接続します。

C デジタルTV外部接続端子 6P

別売のメインユニットのデジタルTV用外部入力端子に接続します。

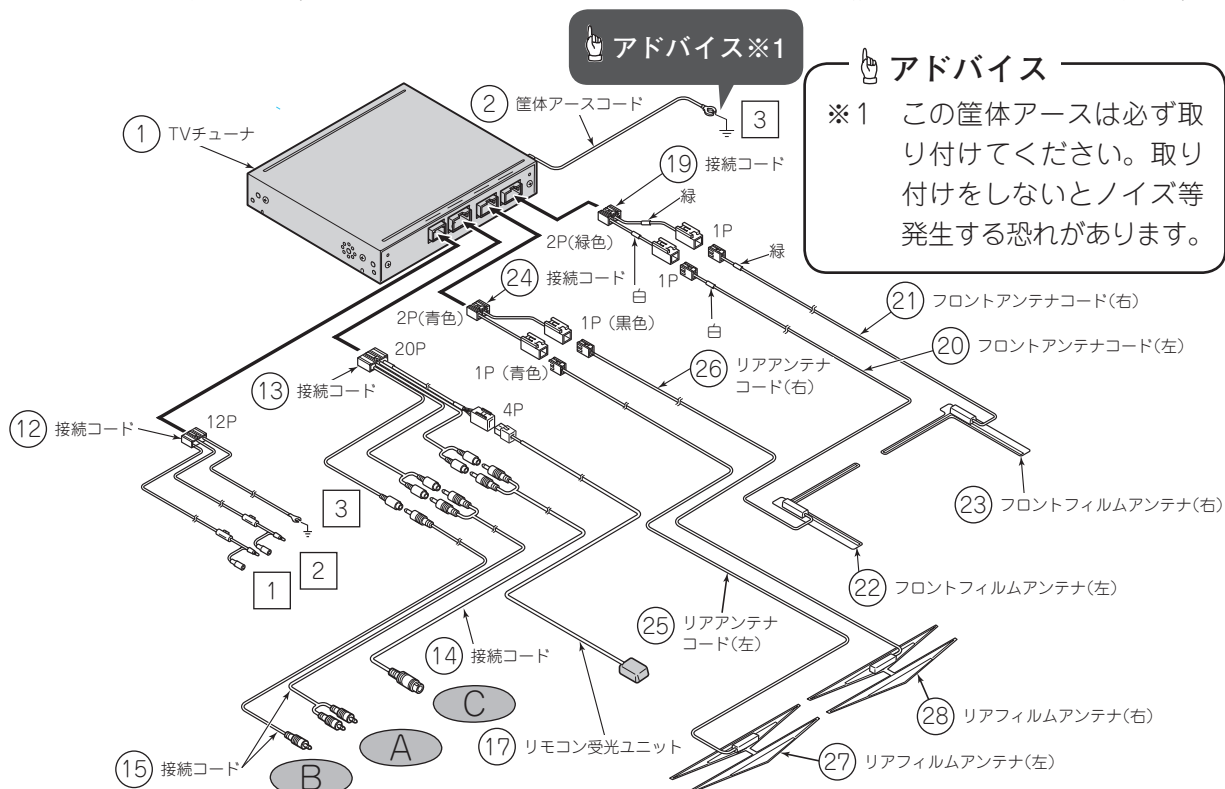
D デジタルTV外部接続映像端子(RCA)

別売のメインユニットのデジタルTV用外部入力映像端子に接続します。

⚠ 注意

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。
また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
- 著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してください。

—DTVR10の場合—(地上デジタルTVチューナ汎用接続キット使用の場合)



◆接続コード⑫&⑬&⑭&⑮の線色および接続先

① バッテリー電源端子(黄色)

車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続します。

②ACC電源端子(赤色)

車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わるところに接続します。

3 アースコード(黒色)

車のボディのアースが確実に取れる所へ取り付けます。

A デジタルTV出力用LINE OUT端子(音声)

映像入力のある外部映像機器(音声出力)と接続します。

白色：左音声出力 赤色：右音声出力

B デジタルTV出力用LINE OUT端子(映像)

映像入力のある外部映像機器(映像出力)と接続します。

黄色：映像出力

C デジタルTV出力用S端子

映像入力用S端子のある外部映像機器と接続します。

👉 アドバイス

外部モニターの端子がRCA入力かS端子入力によって **B** または **C** を使用してください。

⚠ 注意

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。
- また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
- 著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してください。

システム接続例

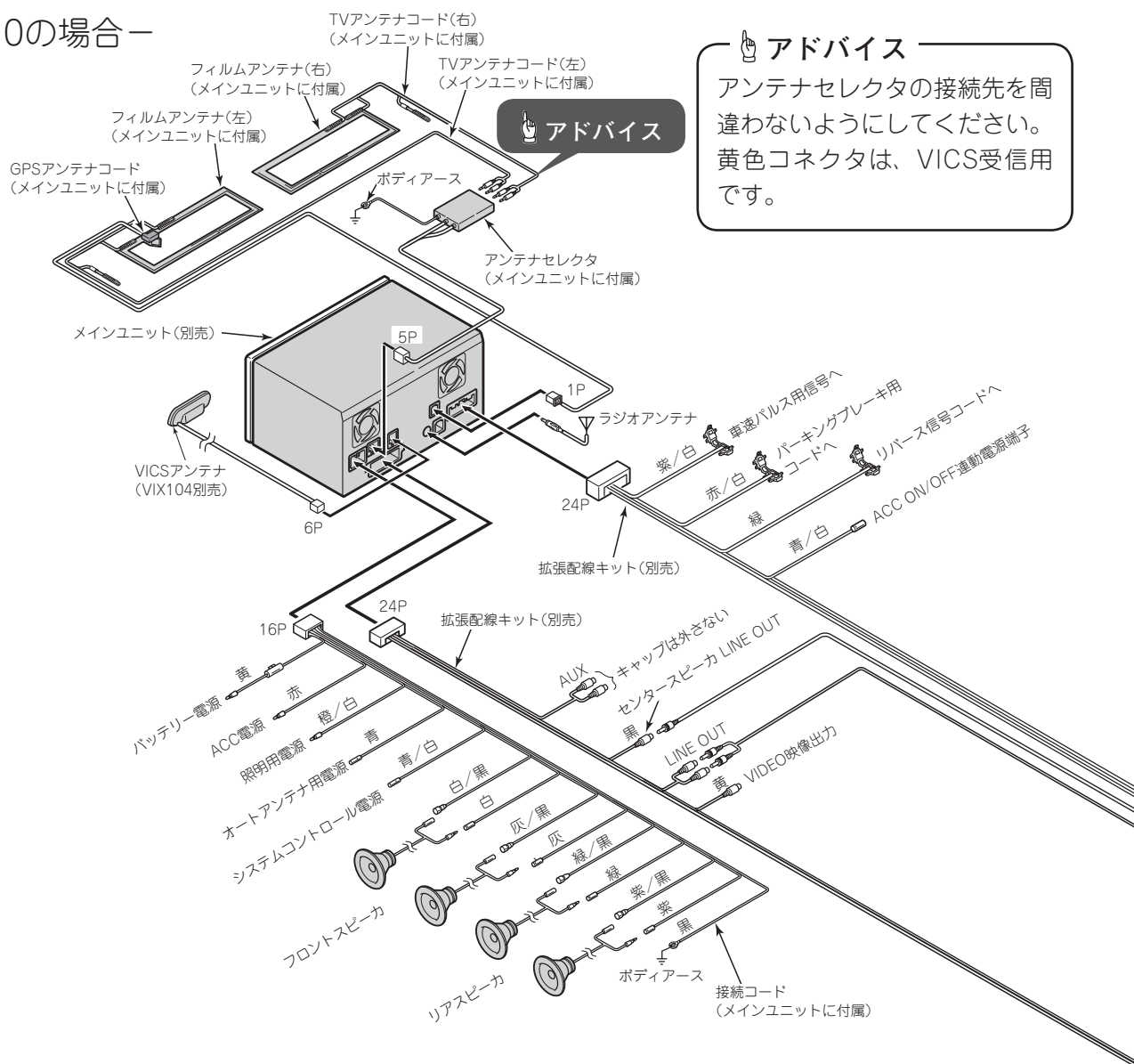
警告

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

メインユニットに接続する前に各ユニットの取付要領書も参考に取付及び配線を行ってください。

—DTVL10の場合—



音量によっては、大きな電流を必要とします。
必ずバッテリーのプラス⊕に接続してください。



フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

⚠ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。

⚠ 注意

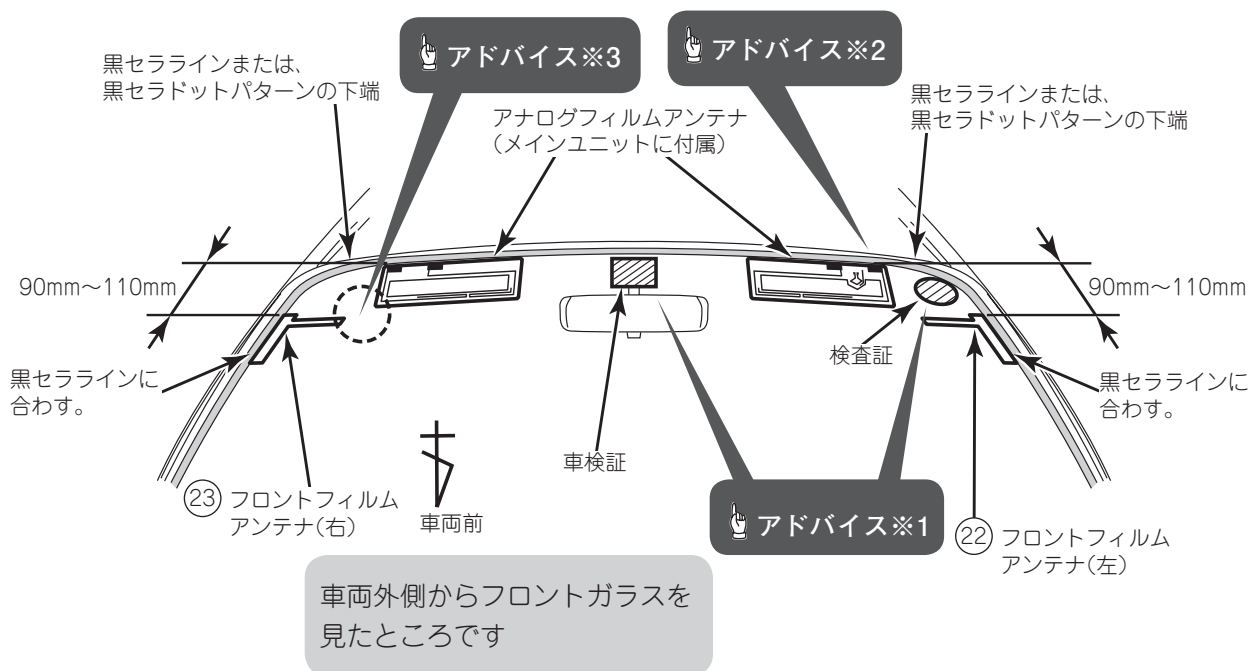
- 取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。
- お車のフロントおよびリアガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

👉 アドバイス

- フィルムアンテナは、一度貼り付けた後はがしての再貼り付けはできません。また、作業中の貼り直しをくり返すとフィルムアンテナのノリの粘着力が弱くなりますので行わないでください。
- このフィルムアンテナは、フロントおよびリアガラス部への取り付けのみとなります。その他の場所への取り付けは行なわないでください。
- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- フィルムアンテナは非常にデリケートなため作業時の取扱いには十分ご注意ください。
- アンテナは断熱ガラスなどの特殊加工されたガラスや金属を含有するウィンドウフィルムに設置すると感度が極端に劣化するため取り付けできません。またお車のフロントおよびリアガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- フィルムアンテナ貼付位置は、車両ボディ、ピラー等の金属部分にあまり近付けすぎますと性能が劣化する場合がありますので取付の注意事項に従った取付作業を行ってください。
- 一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。一部の車両において、フロントガラスの材質・表面処理等により、受信感度が落ちる場合があります。
- フロントガラスに「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」を採用した車種は、熱線だけでなく電波も反射するためフィルムアンテナの取り付けはできません。

ーフロントフィルムアンテナ取り付け位置ー

以下の項目に注意して取付作業を行ってください。



アドバイス

フロントフィルムアンテナは、フロントガラス内側の上部へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは行わないでください。

※1

- フロントフィルムアンテナは、車検証、検査証と重ならないように位置を決めてください。
- フロントフィルムアンテナは車両フロントガラス面内側に貼り付けてください。

※2

- フロントフィルムアンテナは、黒セララインまたは、黒セラドットパターン下端から90mm~110mm程度離して位置を決めてください。

※3

- デジタルフロントフィルムアンテナとアナログフィルムアンテナの間は、重ならないようにしてください。

ーフロントフィルムアンテナの取付要領ー

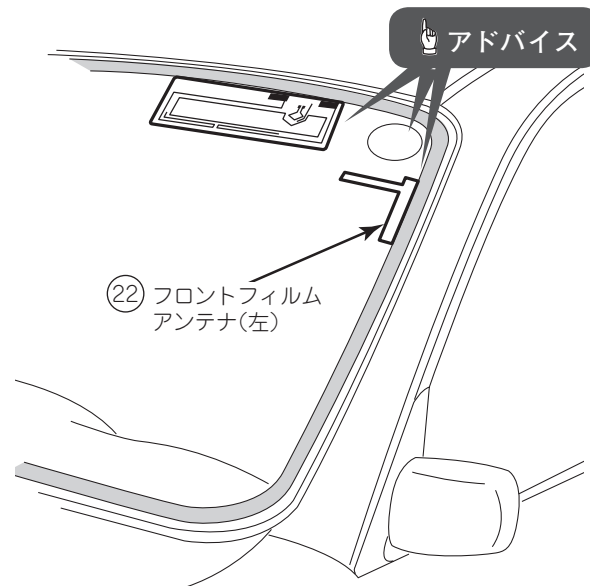
👉 アドバイス

- フロントフィルムアンテナを取り付ける前にフロントフィルムアンテナ貼付部のフロントガラス面を付属のクリーナ(布)で汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- 付属のクリーナ(布)は、リアフィルムアンテナを取り付ける前にも使用しますので、破棄しないでください。

- 1** フロントフィルムアンテナの取付位置を決めるためにフロントガラス外側にフロントフィルムアンテナをあてる。

👉 アドバイス

- フロントフィルムアンテナは、アナログフィルムアンテナ、車検証、検査証と重ならないように位置を決めてください。
- ここでは、フロントフィルムアンテナのハクリ紙をはがさないでください。
- フロントフィルムアンテナの取付作業は、左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。



車両外側からフロントガラスを見たところです

- 2** フロントフィルムアンテナの④部を車両の黒セララインまたは黒セラドットパターンに合わせる。

※黒セラライン

：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。

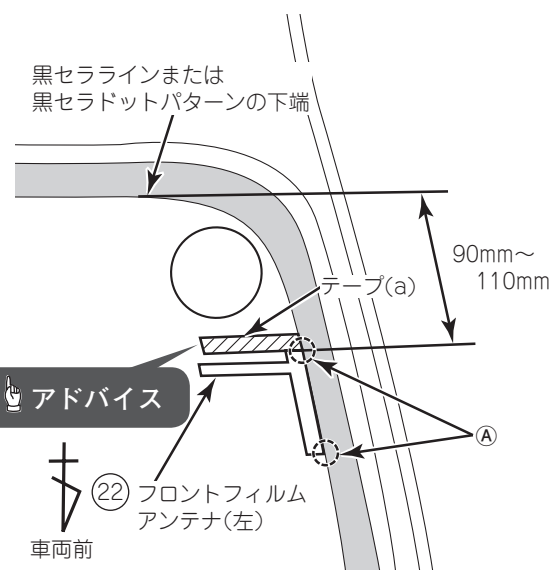
※黒セラドットパターン

：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

- 3** フロントフィルムアンテナの左右両端をテープ等でマーキングする。【テープ(a)】

👉 アドバイス

テープはフロントガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。



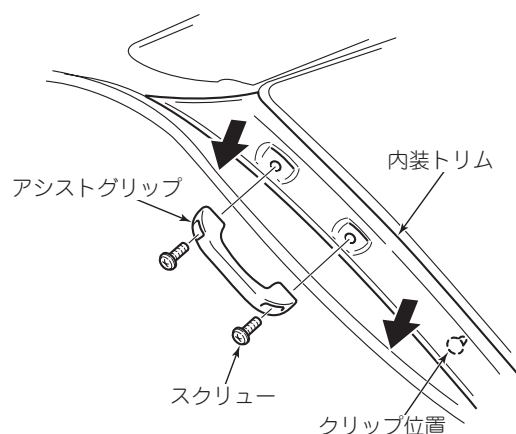
車両外側からフロントガラスを見たところです

4 車両内装トリムを取り外す。

👉 アドバイス

- 樹脂製の内装トリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- 取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。(作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。)

ー内装トリム取り外し(例)ー

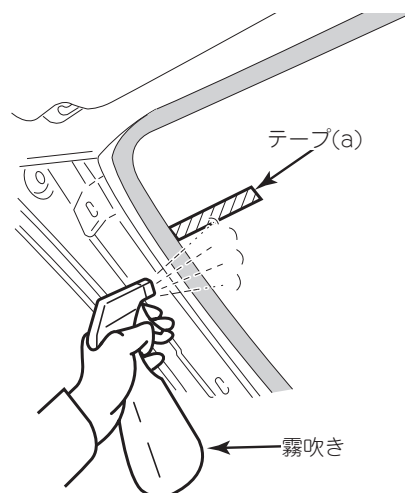


5 車両の内装に水が掛からないようにシートやタオル等を使用して保護してください。

6 車両室内側のフロントフィルムアンテナ貼り付け位置のフロントガラス面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一に霧吹きでスプレーする。

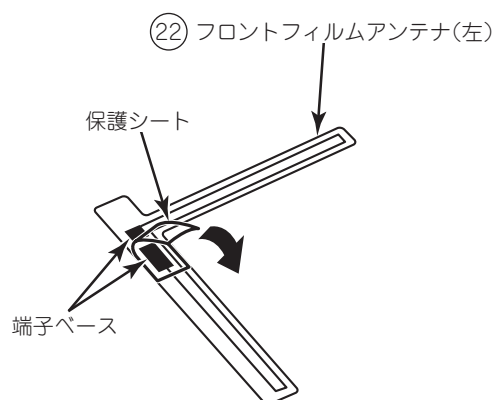
👉 アドバイス

霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



車両内側からフロントガラスを見たところです

7 フロントフィルムアンテナ端子ベースの保護シートを取り外す。

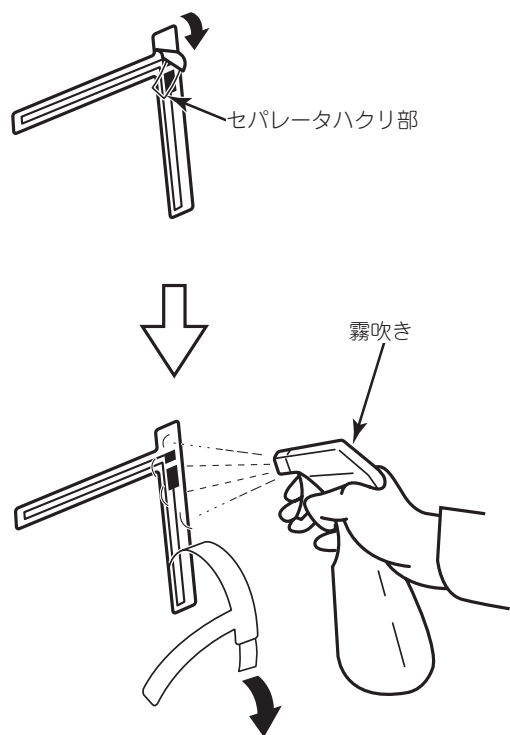


8 フロントフィルムアンテナのセパレータハクリ部からセパレータをはがす。

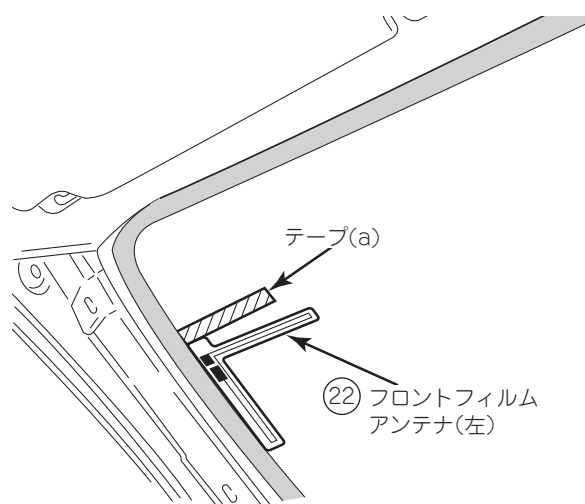
9 フロントフィルムアンテナの貼り付け面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一に霧吹きでスプレーする。

アドバイス

- フロントフィルムアンテナの貼り付け面に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。
- 霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



10 マーキング位置【テープ(a)】に合わせてフロントフィルムアンテナをフロントガラス面(車室内側)に貼り付ける。



11 シワやキズが付かないように注意してフロントフィルムアンテナとガラス面との間に入った水、気泡を付属のヘラを使用して押し出す。

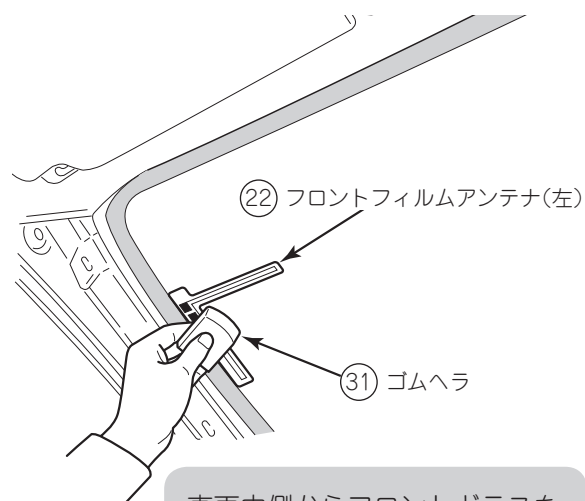
アドバイス

- フロントフィルムアンテナが動かないように押さえながら作業を行ってください。
- 気泡が抜けない場合は、針を利用して空気抜きを行ってください。

12 余分な水分をタオルや柔らかい布などで拭き取る。

アドバイス

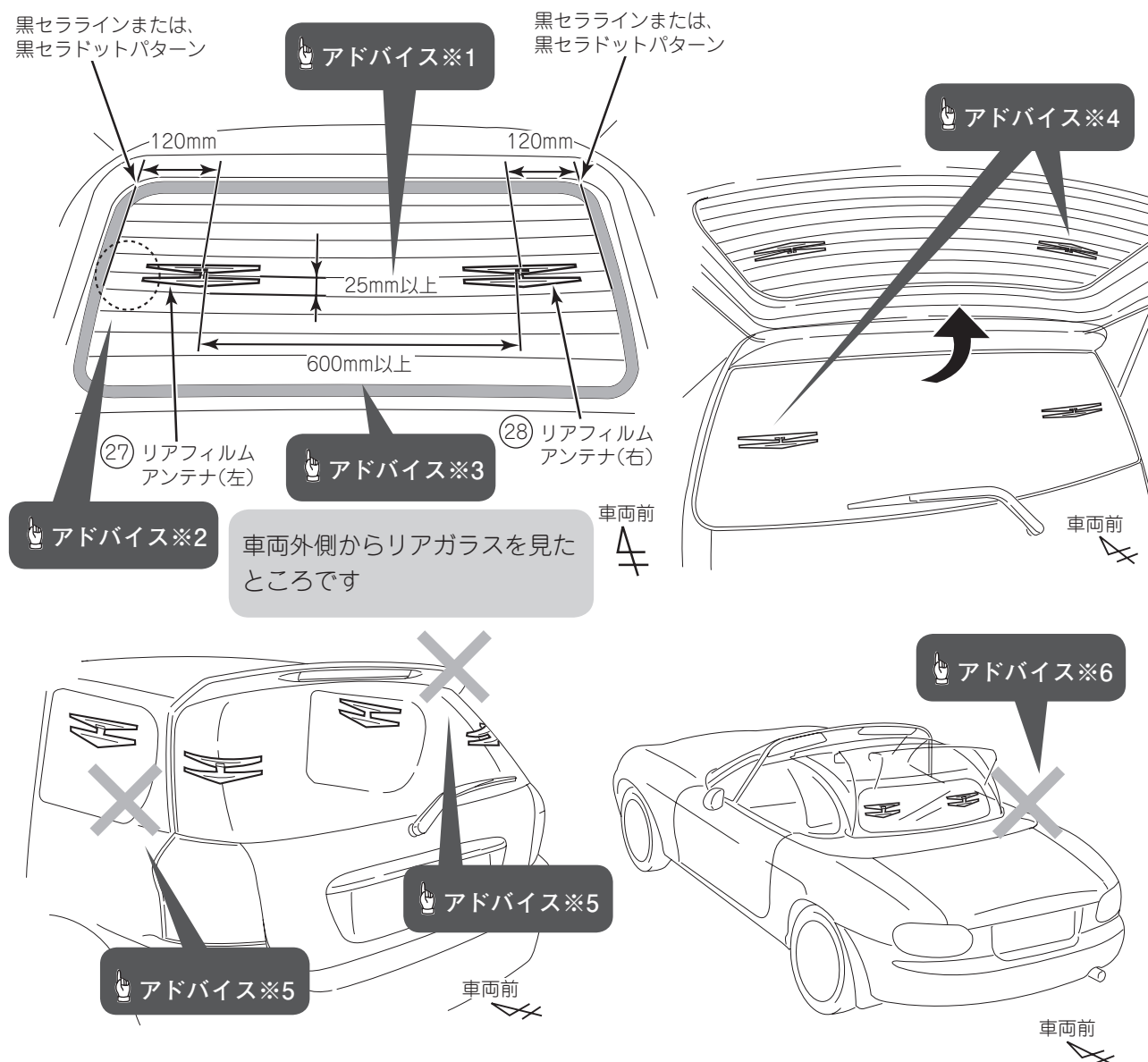
ドライヤー等で無理に乾かさないでください。
フロントフィルムアンテナ破損の原因となります。



車両内側からフロントガラスを見たところです

ーリアフィルムアンテナ取り付け位置ー

以下の項目に注意して取付作業を行ってください。



アドバイス

車両側ラジオアンテナ等からの影響回避およびデジタルTVアンテナの性能確保のため、リアフィルムアンテナはリアガラス内側の上下縦方向の中央付近へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは行わないでください。

※1 ●リアガラスのデフォガ(熱線)の間隔が25mm以上あることを確認してください。

25mm以下の場合、取り付けできません。

※2 ●黒セララインまたは黒セラドットパターンにリアフィルムアンテナのパターンが掛からないようにしてください。

※3 ●左右リアフィルムアンテナの給電部間が600mm以上あることを確認してください。

※4 ●ハッチバックの場合、リアフィルムアンテナの貼り付けの向きに注意してください。

※5 ●クォーターガラスへの取り付けは行わないでください。

●リアガラスの著しい曲面に貼り付けしないでください。ピックアップ端子がはがれる場合があります。

※6 ●オープンカーなどリアウィンドウが収納されたり開閉出来る車両の場合、リアフィルムアンテナは取り付けしないでください。

ーリアフィルムアンテナの取付要領ー

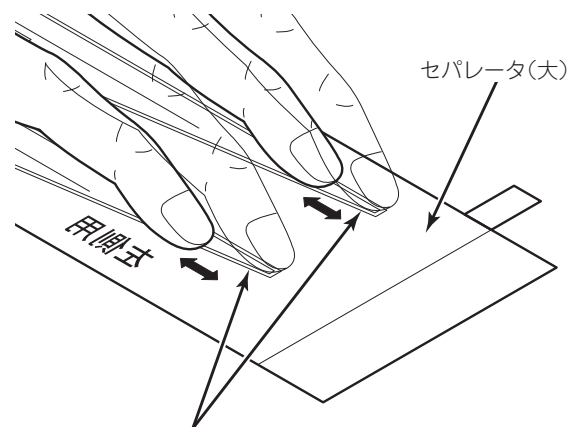
👉 アドバイス

リアフィルムアンテナを取り付ける前にリアフィルムアンテナ貼付部のリアガラス面を付属のクリーナ（布）で汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

- 1 アンテナパターンがフィルムシートに残るように、セパレータ(大)の上から指でアンテナパターンの先端をこすりつける。

👉 アドバイス

リアフィルムアンテナの取付作業は、左側を表しています。
右側も同様に作業を行ってください。

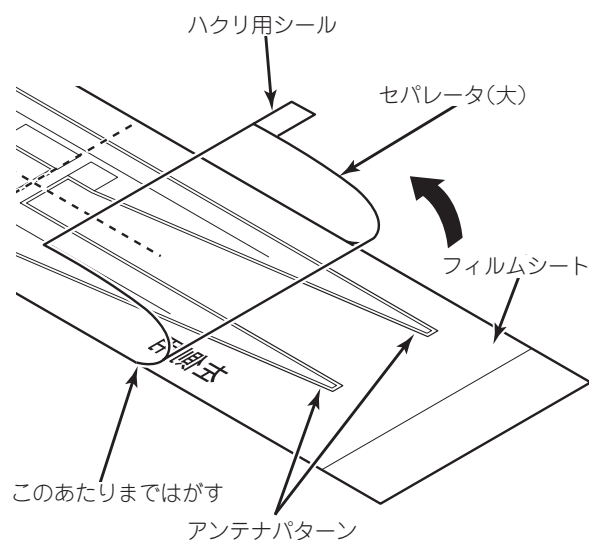


アンテナパターンの先端を指でこすりつける

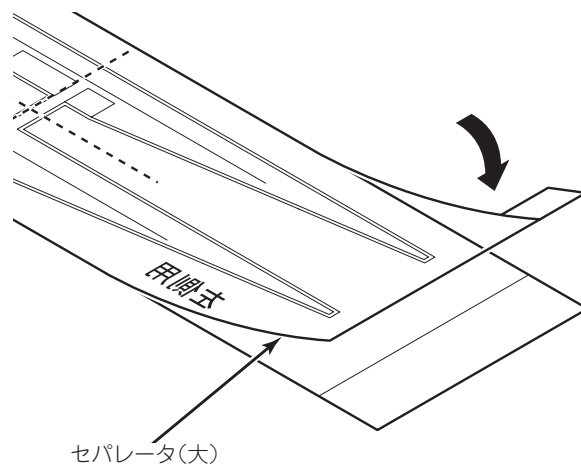
- 2 アンテナパターンがフィルムシートから浮いていないか確認してください。

👉 アドバイス

- 必ず180° 折り返すように、ハクリ用シールを利用してセパレータ(大)をはがしてください。
- 浮きのある場合は、再度1の手順を繰り返してください。



- 3 セパレータ(大)を元に戻す。



ーハッチバックの場合ー

- 4** リアガラス(室内側)にリアフィルムアンテナ取付用の基準線①をテープ等でマーキングする。

【テープ(a)】

👉 アドバイス

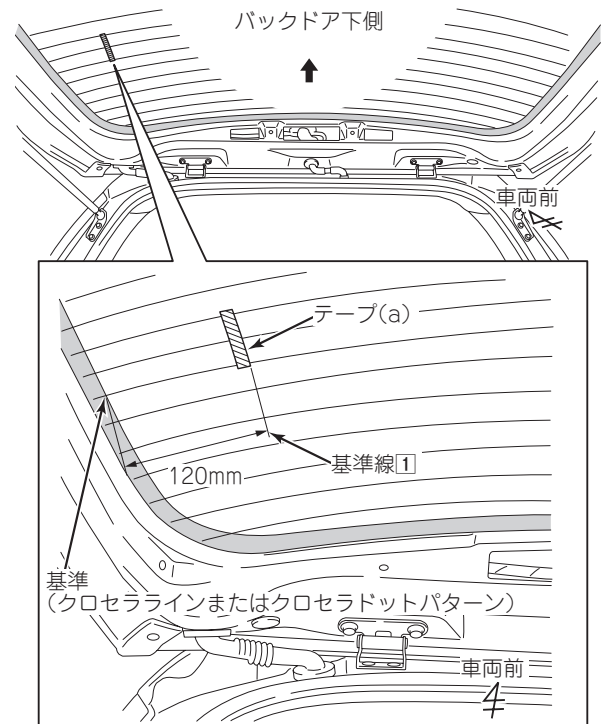
- テープ等でマーキングする場合、テープ等の内側が基準位置になるようにしてください。
- テープはリアガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。

※黒セラライン

：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。

※黒セラドットパターン

：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。



- 5** リアフィルムアンテナからセパレータ(中)をはがす。



アドバイス

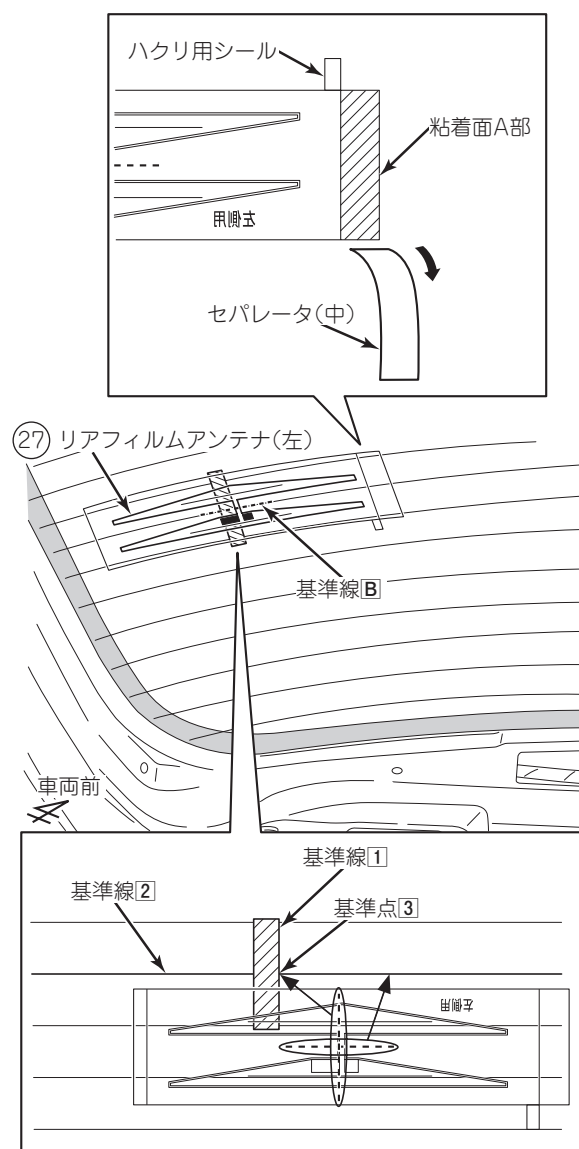
粘着面A部のセパレータ(中)のみ、はがしてください。

- 6** テープ等でマーキングした基準線①とデフォガ線(基準線②)が交わる所(基準点③)にリアフィルムアンテナ(基準線A)の基準位置を合わせ、同時に基準線②と基準線Bを合わせて粘着面A部(セパレータ(中))をリアガラス(室内側)に貼り付ける。

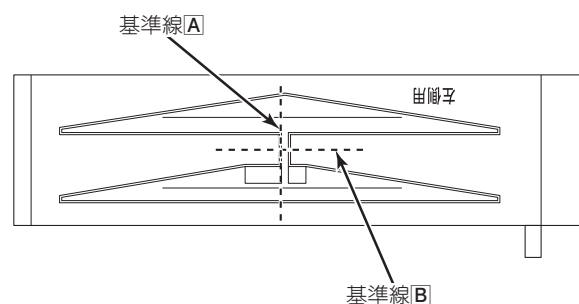


アドバイス

粘着面A部は、何度か貼り直すことができます。



ーリアフィルムアンテナの基準線ー



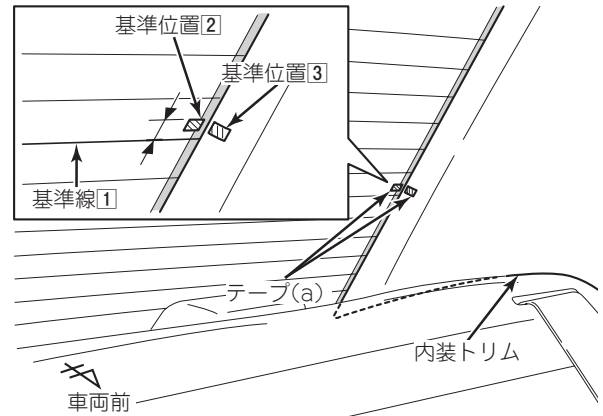
ーセダンタイプの場合ー

- 7** 内装トリムを取り外す前に、リアアンテナコードと内装トリムの切り欠き位置を合わせるために、リアガラス(室内側)と内装トリムに基準位置②および基準位置③をテープ等でマーキングする。

【テープ(a)】

👉 アドバイス

- テープ等でマーキングする場合、テープ等の上部が基準位置になるようにしてください。
- テープはリアガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。

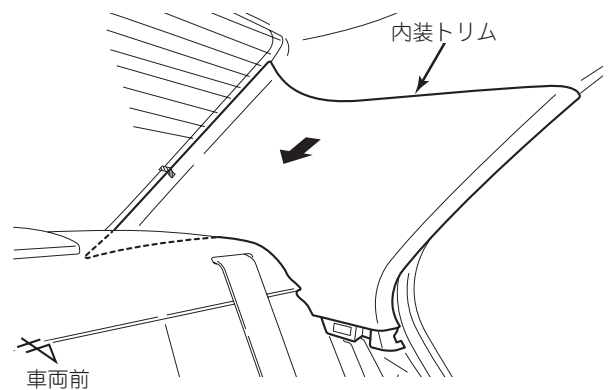


- 8** 内装トリムを取り外す。

👉 アドバイス

- 樹脂製の内装トリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- 取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
(作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。)

ー内装トリムの取り外し(例)ー



- 9** リアガラス(室内側)にリアフィルムアンテナ取付用の基準線④をテープ等でマーキングする。

【テープ(a)】

👉 アドバイス

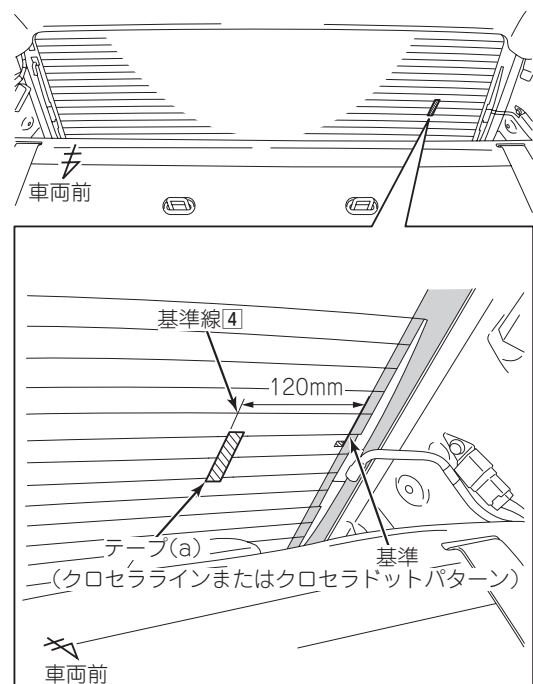
- テープ等でマーキングする場合、テープ等の内側が基準位置になるようにしてください。
- テープはリアガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。

※黒セラライン

：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。

※黒セラドットパターン

：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。



- 10** リアフィルムアンテナからセパレータ(中)をはがす。



アドバイス

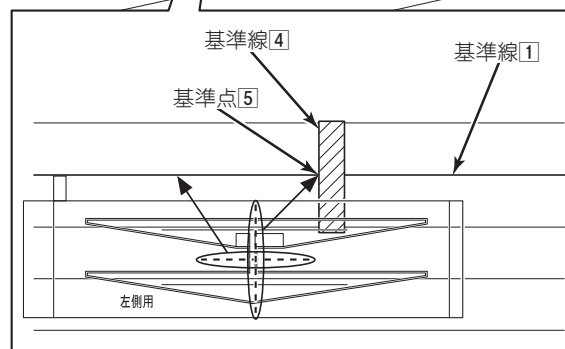
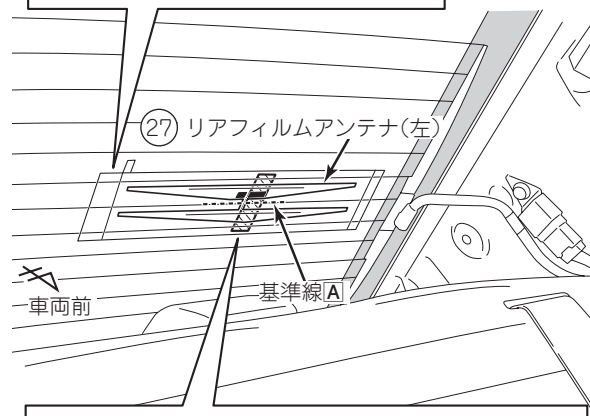
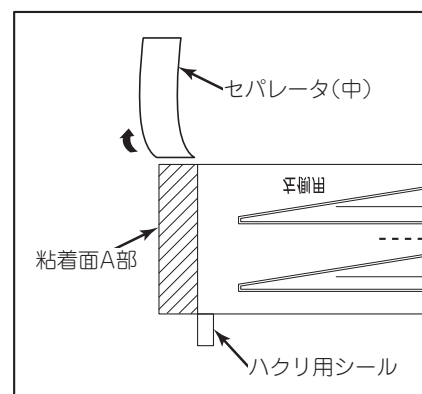
粘着面A部のセパレータ(中)のみ、はがしてください。

- 11** テープ等でマーキングした基準線④とデフォガ線(基準線①)が交わる所(基準点⑤)にリアフィルムアンテナ(基準線A)の基準位置を合わせ、同時に基準線①と基準線Bを合わせて粘着面A部(セパレータ(中))をリアガラス(室内側)に貼り付ける。

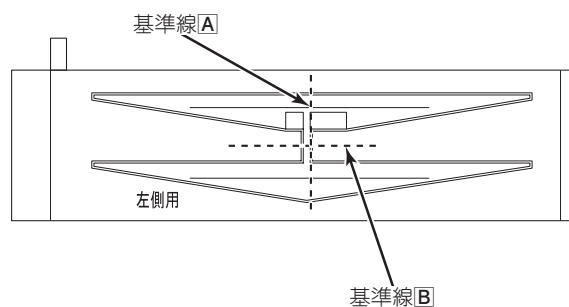


アドバイス

粘着面A部は、何度か貼り直すことができます。



ーリアフィルムアンテナの基準線ー



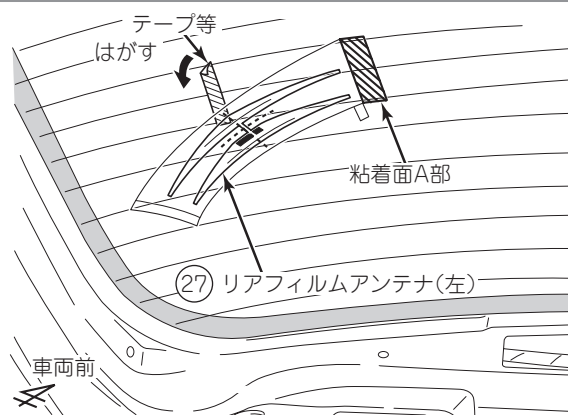
ー共通ー

■図はハッチバックタイプです。(セダントタイプも同様の作業を行ってください。)

12 マーキングしたテープ等をはがす。

👉 アドバイス

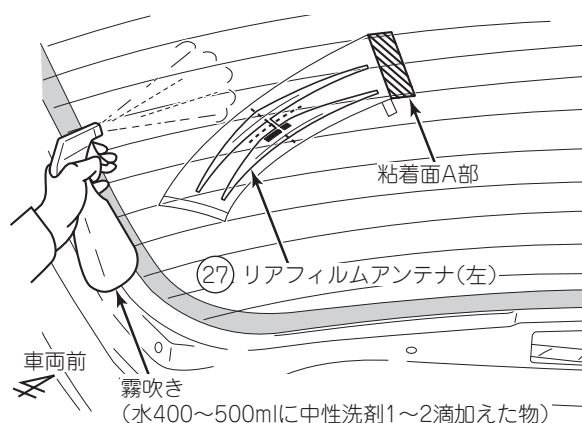
必ずマーキングしたテープ等をはがしたことを確認してください。



13 リアフィルムアンテナ貼り付け位置のリアガラス面(室内側)に、水を均一に霧吹きでスプレーする。

👉 アドバイス

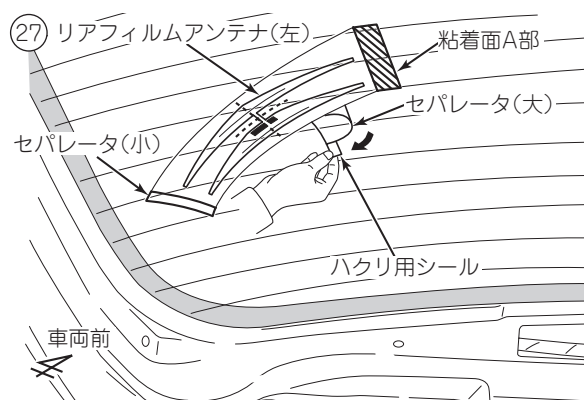
- リアフィルムアンテナ貼り付け面の手アカ、油分、汚れを十分にふき取ってください。
- 車両の内装に水が掛からないようにシートやタオル等を使用して保護してください。
- 霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。中性洗剤の量が多すぎるとフィルムシートをはがす際(16の作業)にリアフィルムアンテナが、はがれる恐れがあります。



14 ハクリ用シールを利用してリアフィルムアンテナからセパレータ(大)をはがし、リアフィルムアンテナをリアガラス(室内側)に貼り付ける。

👉 アドバイス

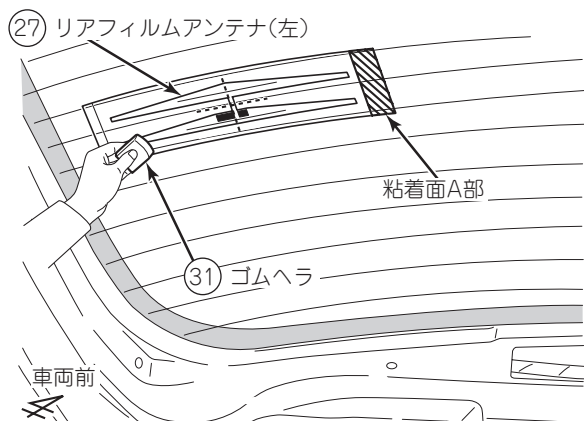
- 粘着面A部を手で押さえながらセパレータ(大)をはがす。
- セパレータ(小)は、はがさないでください。
- アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータ(大)をゆっくりはがしてください。
- 必ず180° 折り返すように、ハクリ用シールを利用してセパレータ(大)をはがしてください。



15 ゴムヘラで水や気泡を抜く。

👉 アドバイス

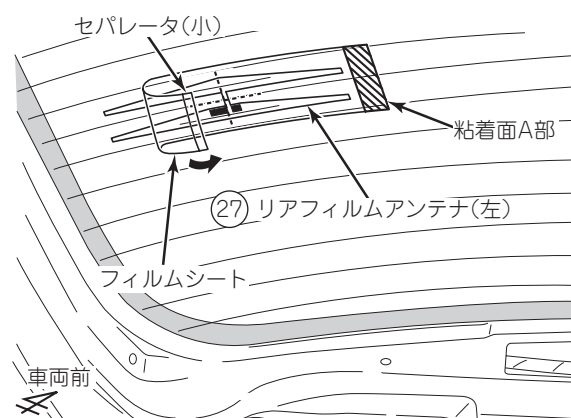
- フィルムシートをはがしていない為、ここでは水は完全に抜けません。十数回程度ゴムヘラで水を取り除いてください。
- シワや傷がつかないように注意して、リアフィルムアンテナとガラス面との間に入った水や気泡をゴムヘラでていねいに取り除いてください。



- 16** セパレータ(小)を持って180° 折り返すようにフィルムシートをはがす。

アドバイス

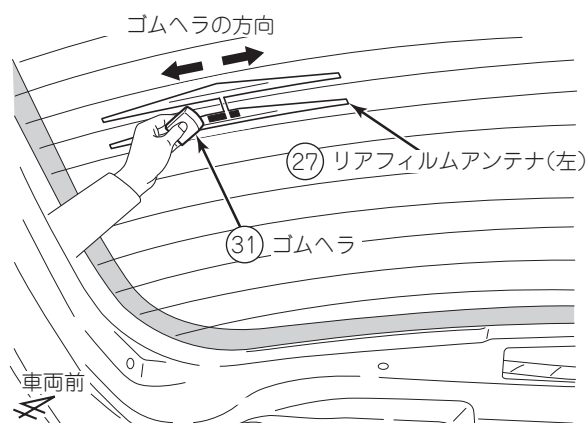
リアフィルムアンテナがフィルムシートと一緒にはがれてしまわないように、必ず180° 折り返すようにフィルムシートをゆっくりとはがしてください。



- 17** ゴムヘラで水や気泡を抜く。

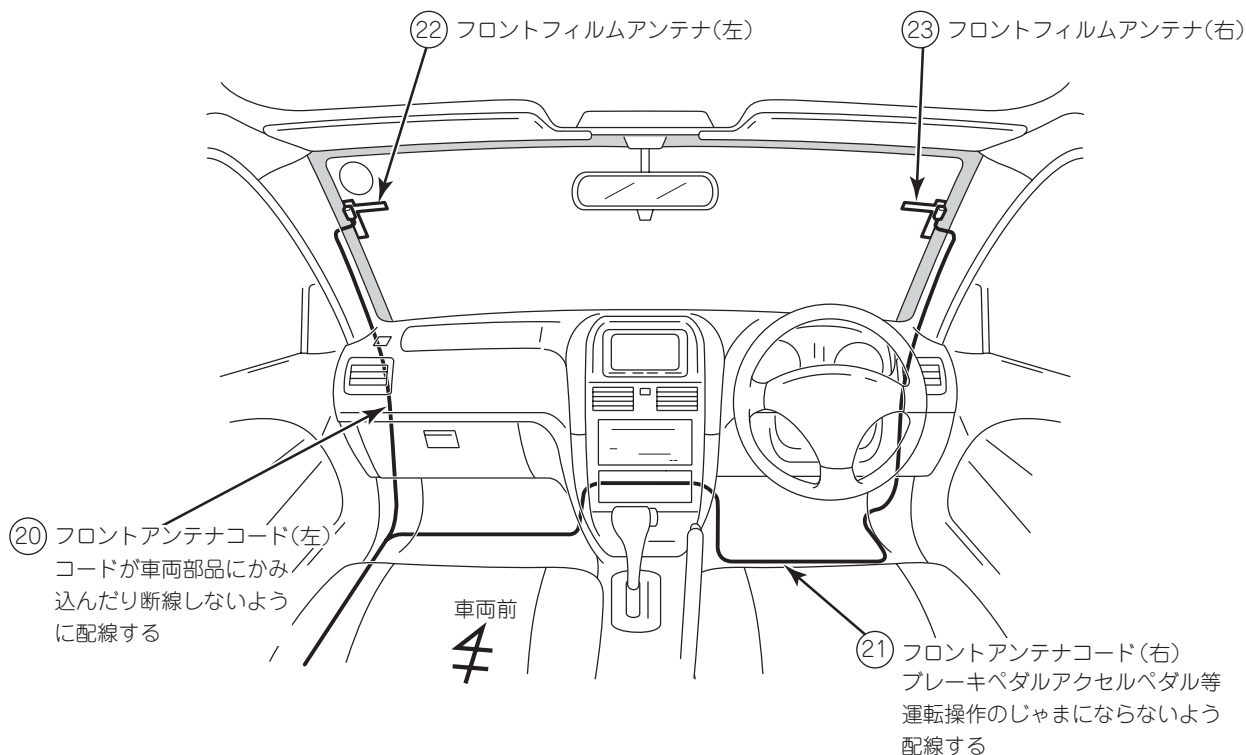
アドバイス

- 給電部分の銅箔部がはがれる恐れがありますので、給電部分は強く押さえつけないでください。
- シワや傷がつかないように注意して、リアフィルムアンテナとガラス面との間に入った水や気泡をゴムヘラを使用して内側から外側方向へていねいに取り除いてください。
- 余分な水分を、タオルや柔らかい布などで軽く押さえるようにして拭き取ってください。



ーフロントフィルムアンテナ配線概要(例)ー

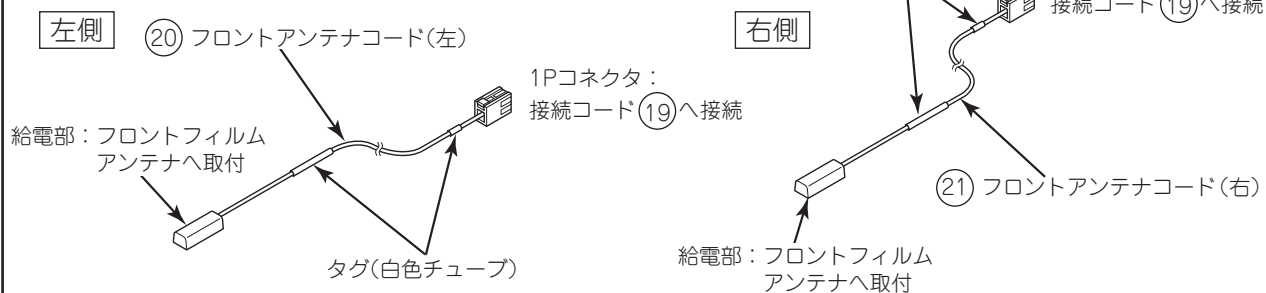
フロントフィルムアンテナコードの配線概要です。



ーフロントアンテナコードの配線要領ー

アドバイス

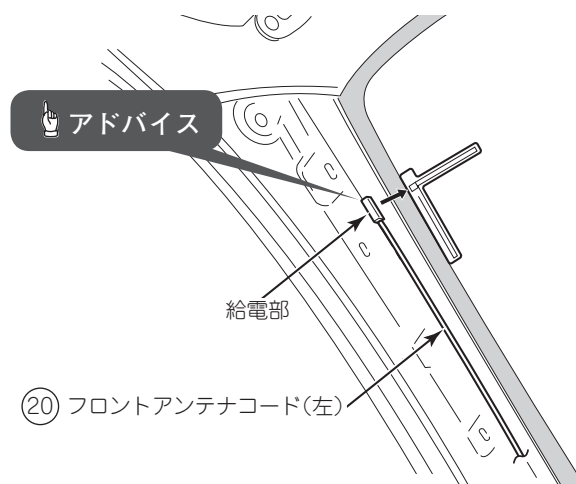
フロントアンテナコードの各取付先を確認してください。



- 1 フロントアンテナコード給電部をフロントフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせフロントアンテナコードの長さを調整する。

アドバイス

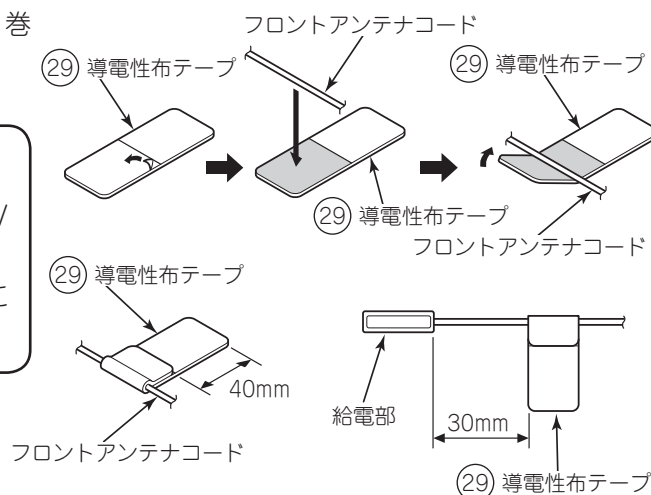
ここでは、給電部をフロントフィルムアンテナに貼り付けないでください。



- 2** フロントアンテナコードに導電性布テープを、巻くように貼り付ける。

アドバイス

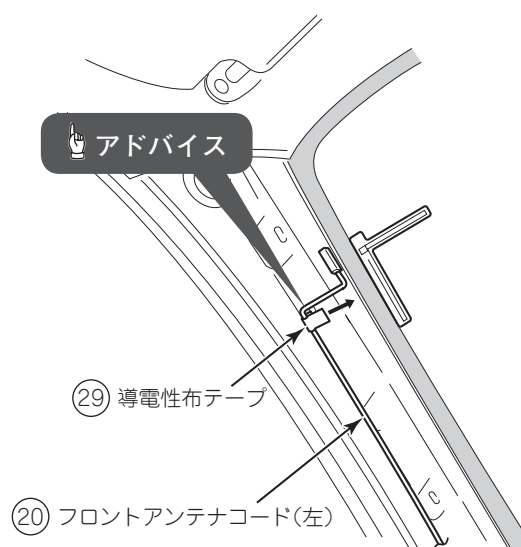
- 導電性布テープを、必ず貼り付けてください。貼り付けない場合は、受信感度が低下し、TV映りが悪くなる場合があります。
- 導電性布テープの半分を使用して巻くように貼り付けてください。



- 3** 導電性布テープを車両に貼り付ける。

アドバイス

導電性布テープは、必ず車両の金属部分に全体を貼り付けてください。クリップ穴部、ネジ穴部等へは貼り付けないでください。また、ボディの塗装をはがさないでください。



- 4** フロントアンテナコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。

アドバイス

- ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。
- ハーネス固定テープは、車両クリップ穴や、ネジ穴等をふさがないように貼り付けてください。



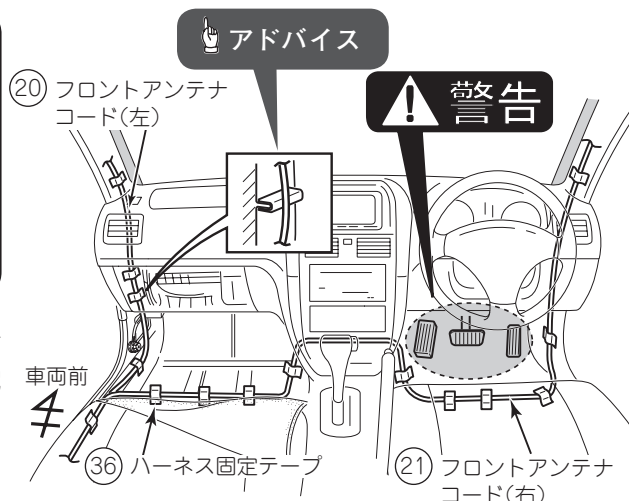
👉 アドバイス

- フロントアンテナコードは車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、ハーネス固定テープをエッジ部分に貼り付けてください。
- 右側フロントアンテナコードの取り付けは、左側と同様の手順で行ってください。

- 5** フロントアンテナコードをハーネス固定テープで固定しながらデジタルTVチューナ取付位置まで配線する。

⚠ 警告

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

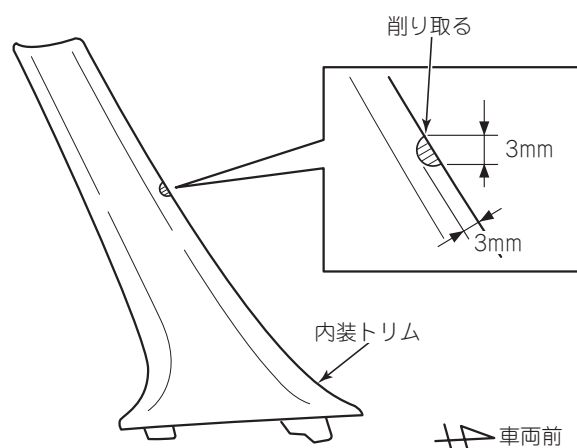


ー内装トリムの加工ー

- 6** 取り外した内装トリムを車両に仮組みして、フロントアンテナコードと干渉するところを確認してください。
- 7** 内装トリムのフロントアンテナコードと干渉するところを削り取ってください。

👉 アドバイス

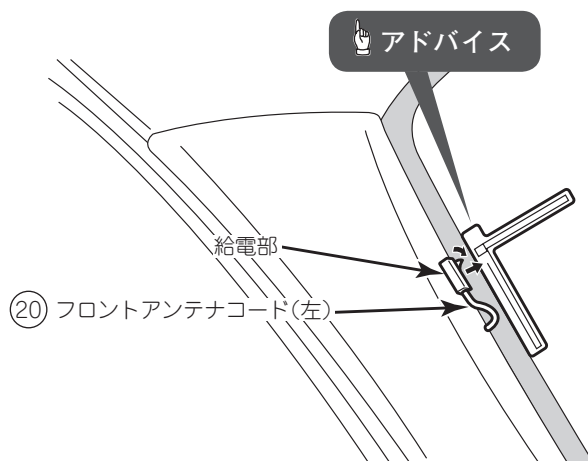
- 内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。



- 8** フロントアンテナコード給電部をフロントフィルムアンテナの車両内側の端子ベースに貼り付ける。

👉 アドバイス

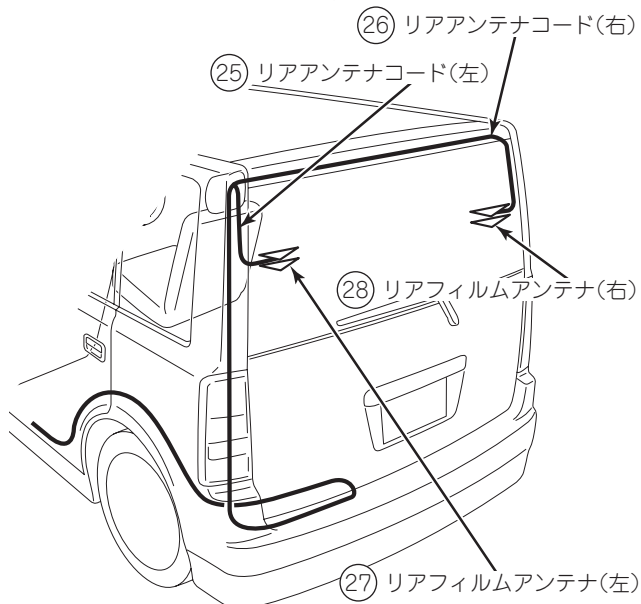
- 給電部はフロントフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- フロントアンテナコード給電部はフロントフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。



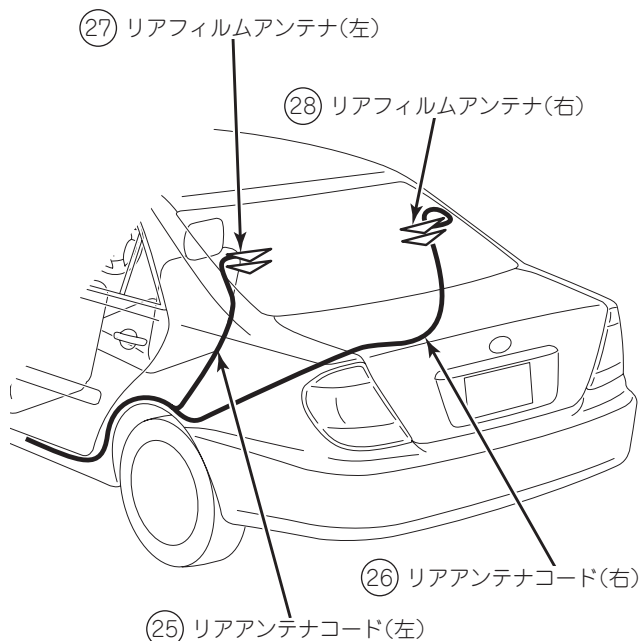
ーリアフィルムアンテナ配線概要(例)ー

リアフィルムアンテナコードの配線概要です。

ーハッチバックの場合ー



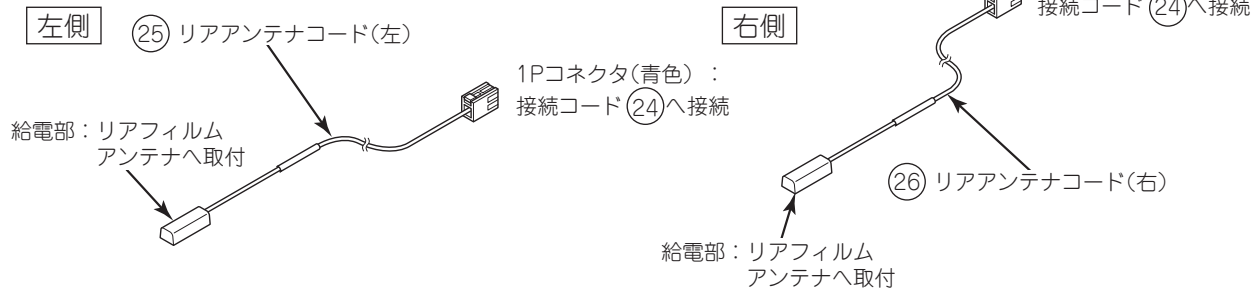
ーセダンタイプの場合ー



ーリアアンテナコードの配線要領ー

👉 アドバイス

リアアンテナコードの各取付先を確認してください。

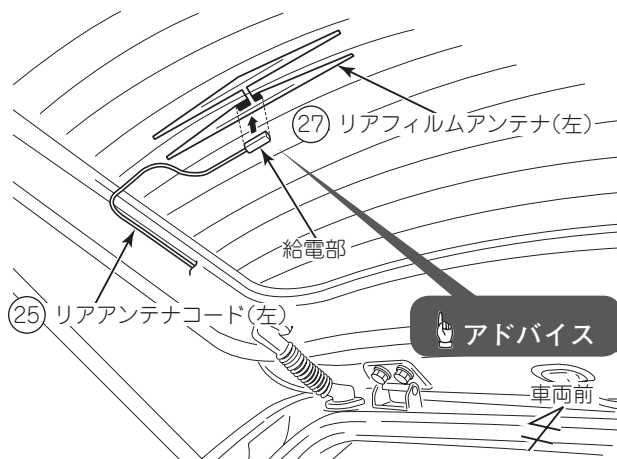


ーハッチバックの場合ー

- 1 リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせリアアンテナコードの長さを調整する。

👉 アドバイス

ここでは、給電部をリアフィルムアンテナに貼り付けないでください。



👉 アドバイス

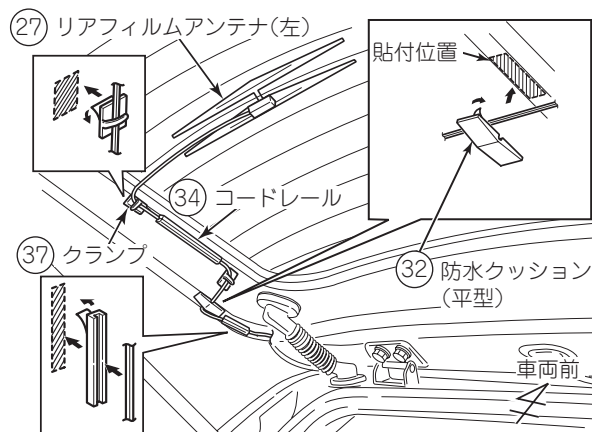
2 リアアンテナコードをコードレール、ハーネス固定テープおよびクランプで固定しながら配線する。

3 防水クッション(平型)をウェザーストリップに当たるように調整して貼り付ける。

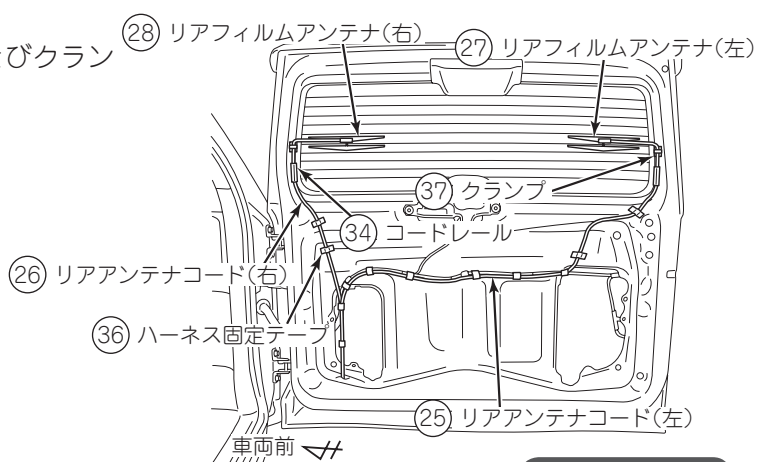
アドバイス

- 車両に防水クッション(平型)を貼り付ける際、リアアンテナコードの間隔が、100mm以上になるように防水クッション(平型)を貼り付けてください。
- リアアンテナコードが、車両の可動部などにかみ込まないように配線してください。かみ込むと断線等の原因になります。

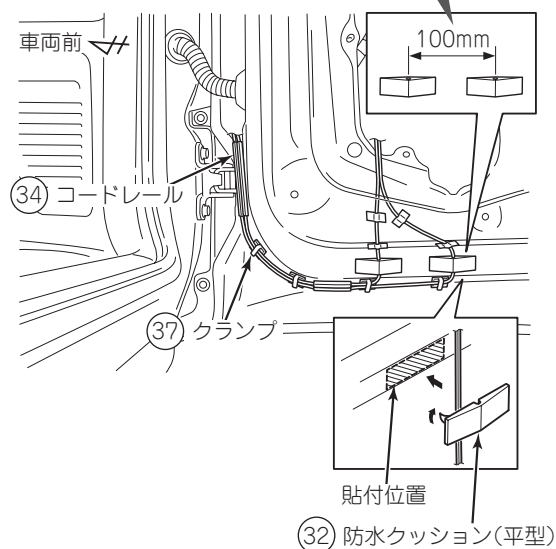
ー縦開きの場合ー



ー横開きの場合ー



アドバイス

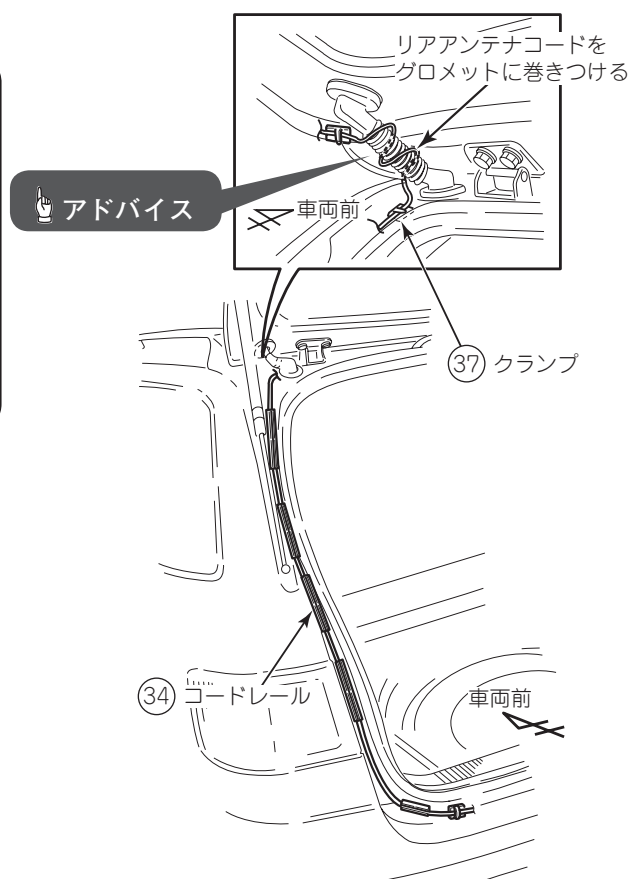


- 5** リアアンテナコードをコードレールおよびクランプで固定しながら配線する。

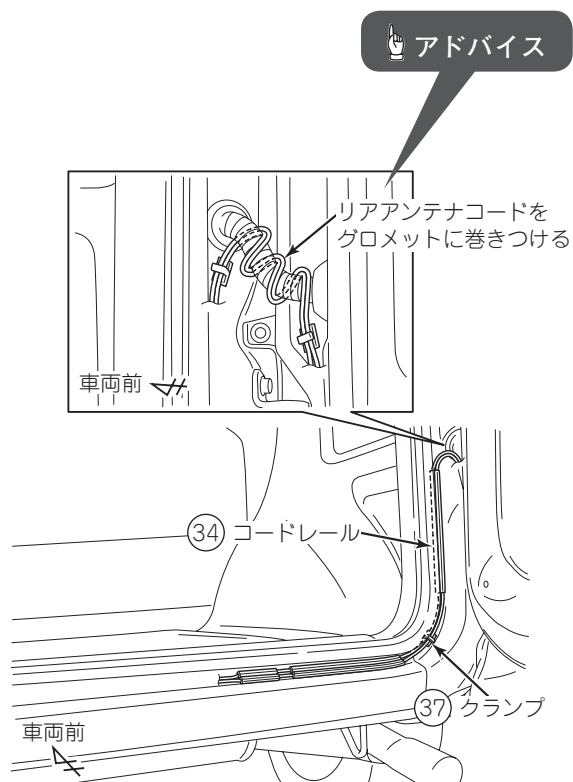
👉 アドバイス

- リアアンテナコードが、車両の可動部などにかみ込まないように配線してください。かみ込むと断線等の原因になります。
- リアアンテナコードは余裕を持たせて、グロメットに巻きつけてください。巻きつけ後、グロメットのボディ挿入部が変形していないことを確認してください。グロメットが変形すると、水入りの原因となります。

— 縦開きの場合 —



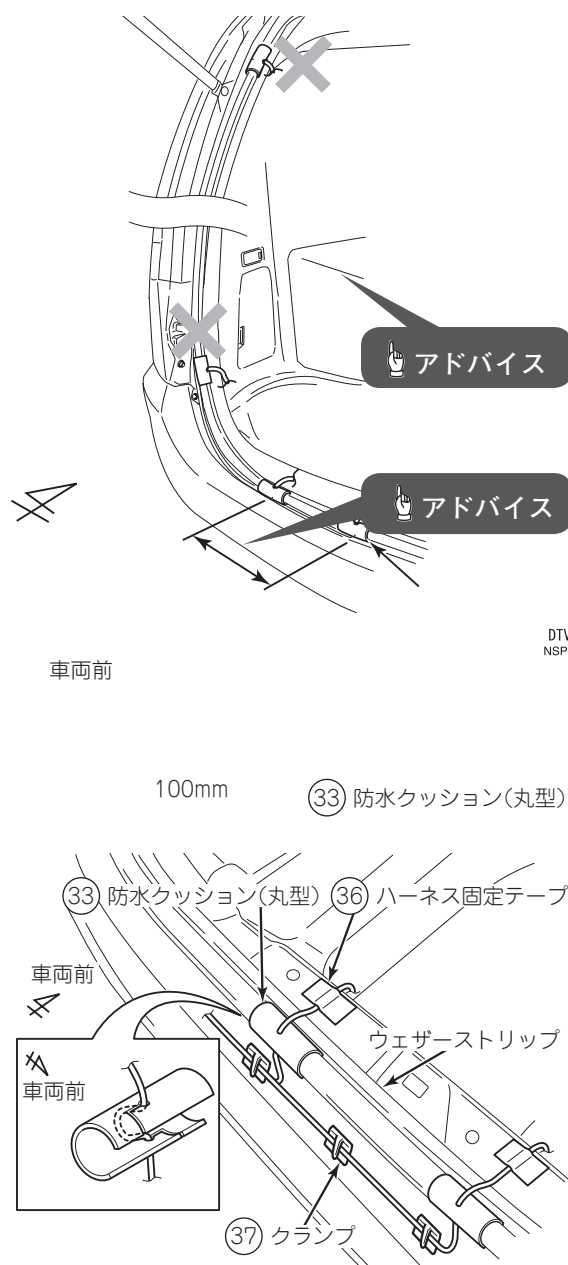
— 横開きの場合 —



- 6 リアアンテナコードを防水クッション(丸型)のスリット部に挿入する。
- 7 防水クッション(丸型)をウェザーストリップに巻き付けるように取り付ける。
- 8 リアアンテナコードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながらTVチューナまで配線する。

👉 アドバイス

- リアアンテナコードは、バンパー付近まで配線し、車室内に引き込んでください。車両横からの引き込みは、雨水等が侵入する原因となるため、リアアンテナコードの引き回しには、十分注意してください。
- 車両に防水クッション(丸型)を貼り付ける際、リアアンテナコードの間隔が、100mm以上になるように防水クッション(丸型)を貼り付けてください。
- リアアンテナコードが、車両の可動部などにかみ込まないように配線してください。かみ込むと断線等の原因になります。

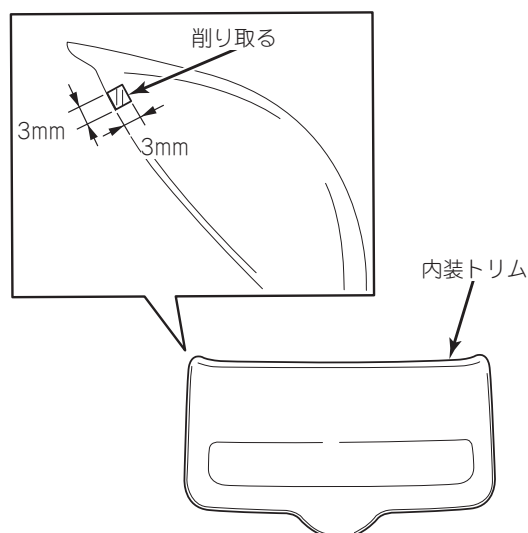


ー内装トリムの加工ー

- 9 取り外した内装トリムを車両に仮組みして、リアアンテナコードと干渉するところを確認してください。
- 10 内装トリムのリアアンテナコードと干渉するところを削り取ってください。

👉 アドバイス

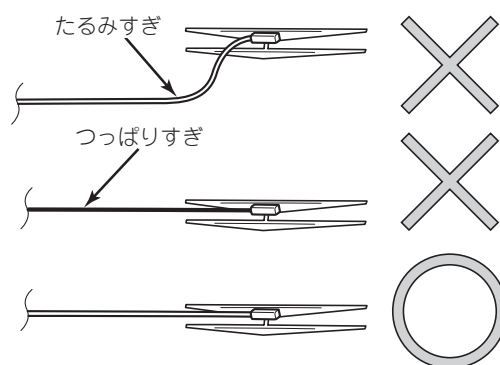
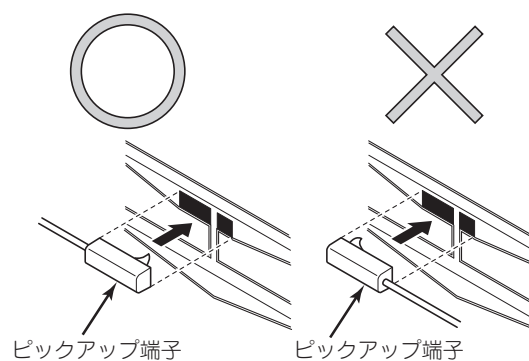
- 内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。



- 11** リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの車両内側の端子ベースに貼り付ける。

 アドバイス

- 給電部はリアフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- リアアンテナコード給電部はリアフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。

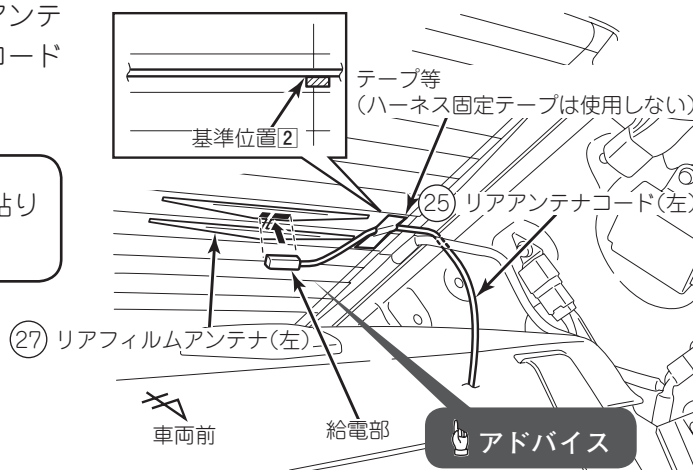


ーセダンタイプの場合ー

- 12** リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせリアアンテナコードの長さを調整する。

👉 アドバイス

ここでは、給電部をリアフィルムアンテナに貼り付けないでください。

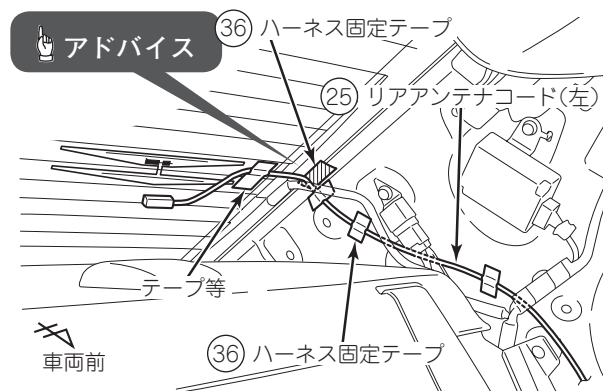


- 13** リアアンテナコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。

👉 アドバイス

車両エッジ部分にハーネス固定テープを貼ってください。

- 14** リアアンテナコードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながらTVチューナまで配線する。

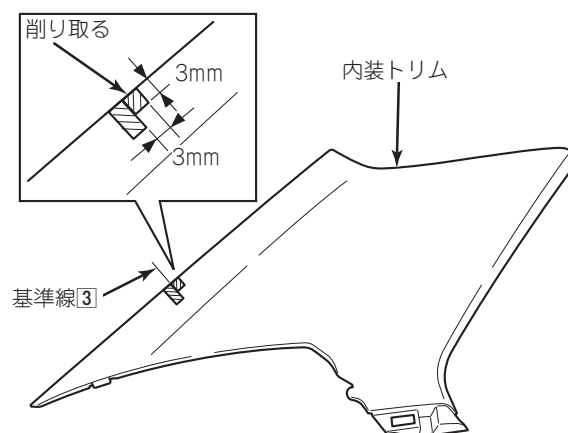


ー内装トリムの加工ー

- 15** 内装トリムのリアアンテナコードと干渉するところを削りとってください。

👉 アドバイス

- 内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。



- 16** 内装トリムを取り付けて、リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの車両内側の端子ベースに貼り付ける。

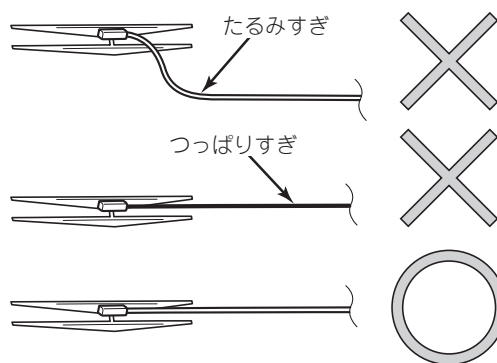
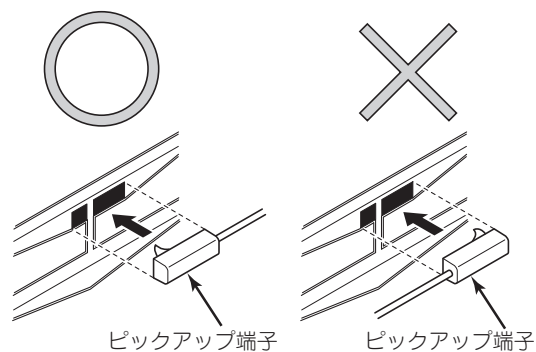
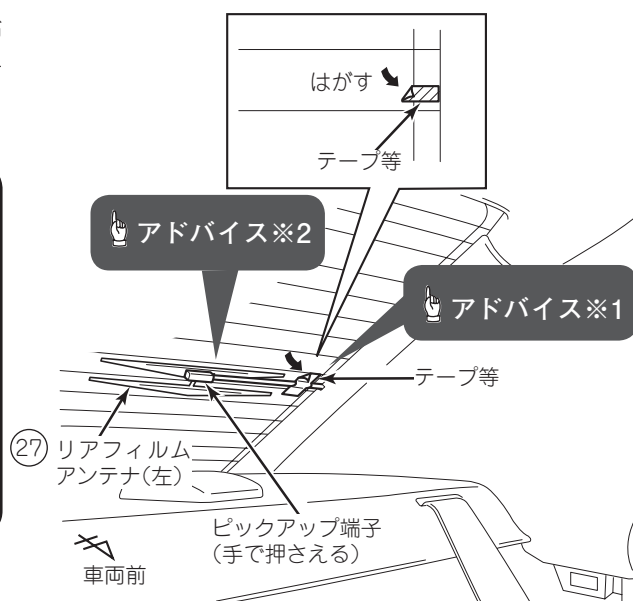
 アドバイス

※ 1

- 位置ぎめのテープ等をはがしてください。

※ 2

- 給電部はリアフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- リアアンテナコード給電部はリアフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。



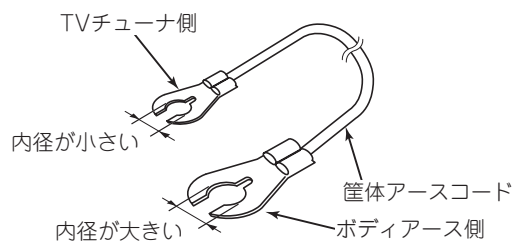
TVチューナーの取り付け

－取り付け例(タッピングねじを使用する場合)－

- 1** TVチューナーにL型ブラケットと筐体アースコードを六角ボルトで取り付ける。

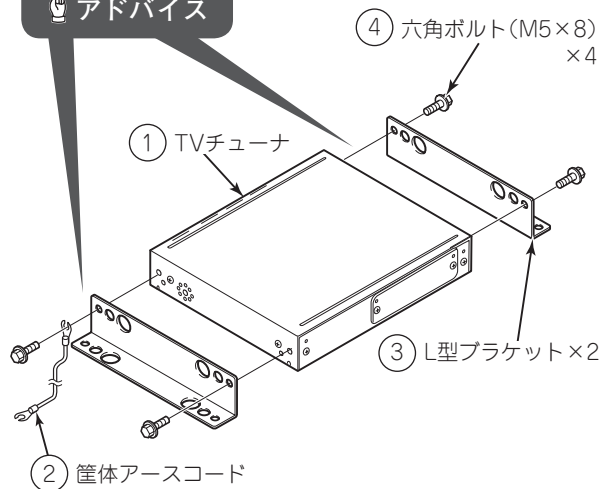
アドバイス

- 筐体アースコードの内径が小さい方をTVチューナーに取り付けてください。



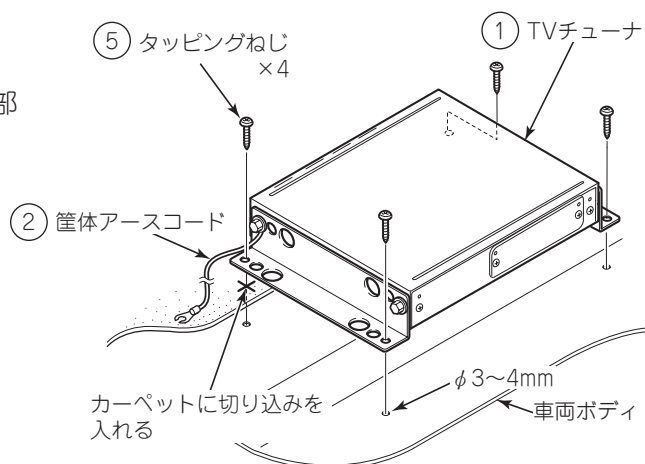
- 取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損するおそれがあります。

アドバイス



- 2** TVチューナーをシート下等に取り付ける。

- 3** 筐体アースコードをボディアースのとれる金属部分へ固定する。

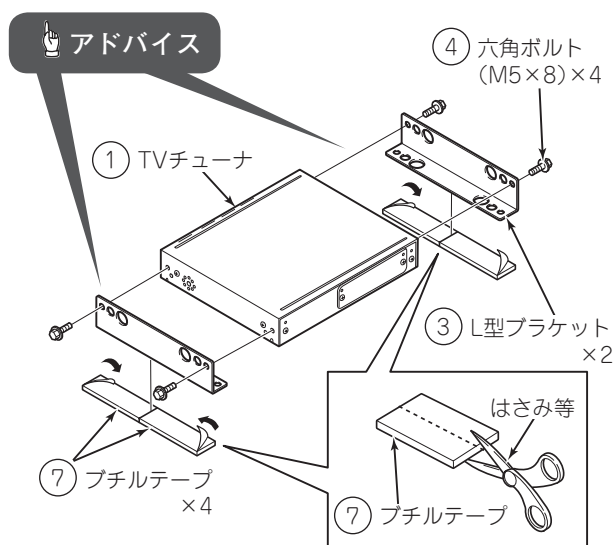


－取り付け例(ブチルテープを使用する場合)－

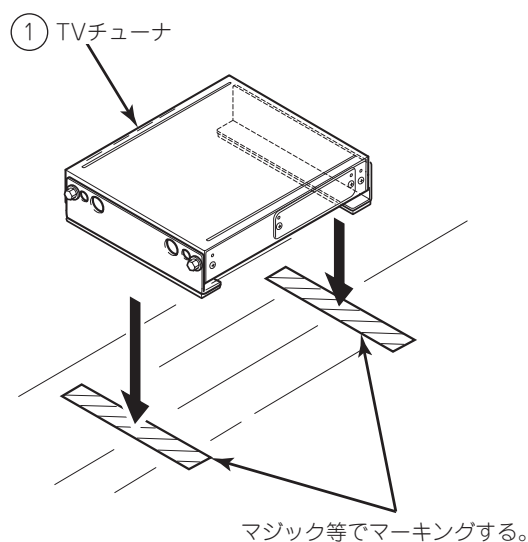
- 1 ブチルテープをL型ブラケットの形に合わせ、はさみ等で切る。
- 2 L型ブラケットにブチルテープを貼り付ける。
- 3 TVチューナにL型ブラケットを六角ボルトで仮止めする。

アドバイス

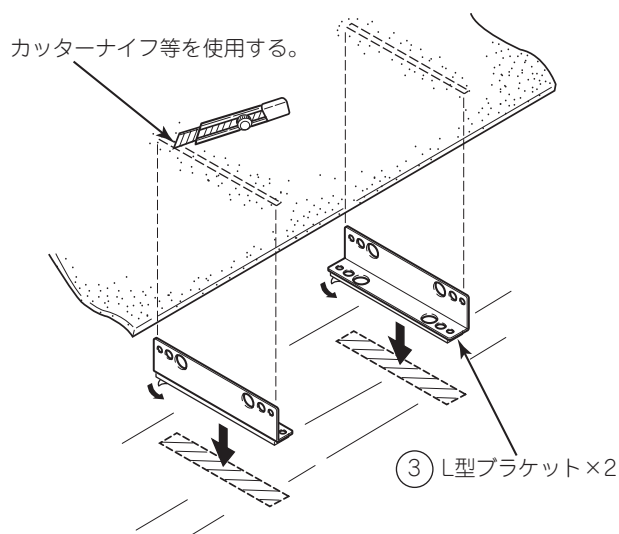
取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損する恐れがあります。



- 4 カーペットをめくり車両の平らな場所にTVチューナの取付位置を決める。
- 5 TVチューナ取付位置を車両フロアにマーキングする。



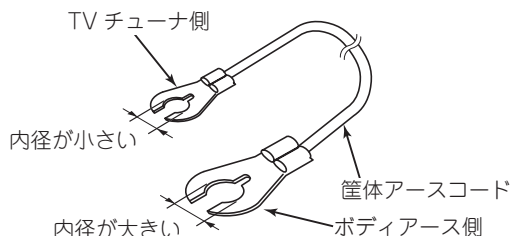
- 6 TVチューナからL型ブラケットを取り外す。
- 7 車両フロアのマーキングした位置にL型ブラケットを貼り付ける。
- 8 カーペットに切り込みを入れ、L型ブラケットをカーペットから出す。



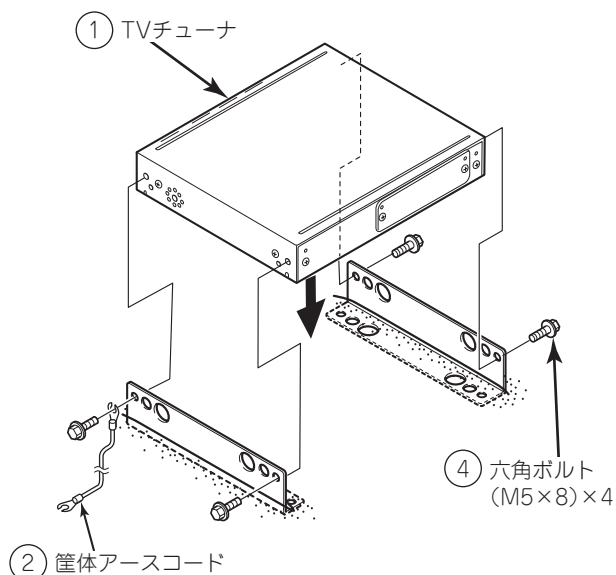
- 9 TVチューナにL型ブラケットと筐体アースコードを六角ボルトで取り付ける。

👉 アドバイス

- 筐体アースコードの内径が小さい方をTVチューナに取り付けてください。



- 取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が破損するおそれがあります。



- 10 筐体アースコードをボディアースのとれる金属部分へ固定する。

リモコン受光ユニットの取り付け

—DTV R10の場合のみ—

- 1 リモコン受光ユニットをクラスターパネルの右横等、操作性の良い位置に取り付ける。

👉 アドバイス

- 運転操作の妨げになるような場所には取り付けないでください。
- 直射日光が当たるような場所には取り付けないでください。
- リモコンの感度を確かめてから取付位置を決めて取り付けてください。

- 2 リモコン受光ユニットコードをクランプで固定しながらTVチューナ取付位置まで配線する。

👉 アドバイス

コードを配線する際は、運転操作の妨げにならないように配線してください。

